

～教育旅行用体感プログラムの構築～ 「モノづくりのまち東大阪／町工場のSDGs」



東大阪の製造業は、1990年時点では1万社を超えていたが、2016年には6千社を割っている。これが何を意味するのか？SDGsの「S」はサステナブルで、持続可能と訳されるが、動詞のサステインには「堪える、持ち堪える」という意味もあるそうだ。これが町工場の底力である。

日本にはいろんな名言が残されている。「働くは、端を楽にすること」「もったいない」「自分よし、相手よし、世間よし」「吾唯足るを知る」等々枚挙に暇ない。これらの言葉はまさにSDGsの考え方そのものではないだろうか？

私たちは、この取組にあたり全体を「町工場のSDGs」、各社を「わが社のSDGs」とネーミングした。町工場がどんな思いで地球的課題に向き合い、そして向き合っていくのか？新たなキャリア教育の舞台を町工場体験の中で示したい。

17のSDGsアイコン



SDGsでは17の目標と169の指標（ターゲット）が示されており、実に多岐に亘っている。モノづくりに携わる町工場にとっては直接・間接的にその多くが町工場経営者の経営目標とするものであるが、環境を意識した素材や機械の導入や、社員の働き方に気を配る等々、各社ごとにその向き合い方には強弱がある。各社ごとに「わが社のSDGs」と題し、各社の地球的課題への日々、日常的な向き合い方を示す。



株式会社アートステージ

紙器を製造している会社です。紙器は、中の商品を保護し価値を高めるといっても重要な役割を果たしています。「私達はときめいてもらう紙器を作る事によってお客様に喜んでいただきたい。また、紙器製造術のうち、特に貼函(布や紙、皮などを貼り付けた函のこと)の技術を未来に継承し、楽しんで紙器を作ること社会に貢献できればと考えております」と小宮路社長。



工場・施設見学

紙器製造工程見学

- 受入可能時間:月~金曜日 10:00~16:00
- 受入可能人数:10~20名
- 所要時間:60分(体験プログラムを含む)

体験

紙器パッケージ作り体験

- プログラム料金:要相談
※見学プログラムを含む

所在地◆〒577-0067 東大阪市高井田西3-2-20
HPアドレス◆<http://www.art-stage.com>
アクセス◆近鉄奈良線「布施駅」



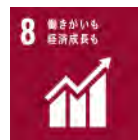
化粧箱はほとんどが再生紙からできている

デパートで売られている化粧品の箱や、卒業証書の箱等、化粧箱には「芯」という箱の軸となるような固めの紙を入れるが、これらは、基本的に再生紙を利用する業界。



女性も活躍！

女性社員は2名ですが、社長と部長というどちらも役職者。



社員同士のコミュニケーションも大事

コロナ前は何年かにかけて積み立てをして、海外旅行の実施や社内イベントの企画も。社員が働きやすい環境を作りだしている。



手作りへのこだわり

あらゆる「化粧箱」の製造を機械ではできない手作りにこだわり製造



「こーばへいこう！」への参画

近隣の住民の方々に工場をオープンにする機会も設けており、参加者からいただく声に、社員も刺激をいただいている



株式会社アオキ

東大阪市発の人工衛星”まいど1号”プロジェクトの仕掛け人青木豊彦社長の会社。創業時は農業機械部品制作、造船プラント関連、油圧部品及びロボット部品にチャレンジ、さらに現在では航空機から宇宙へと発展をとげた。米国ボーイング社の認定工場でもある。青木社長は08年ベストファーザーin関西ものづくり部門受賞、LLPまいど会長、東大阪市ものづくり親善大使。



講演

「モノづくりは人づくり」

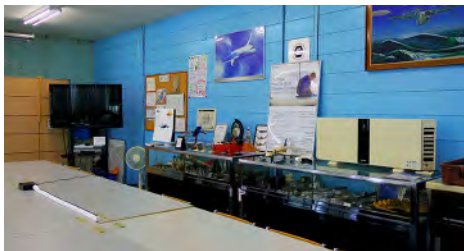
- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:要相談
- 所要時間:60分～
- プログラム料金:要相談
- 内容:モノ作りの町東大阪を世界の楽市楽座に！ものづくりは人づくり！夢を打ち上げるんやない夢で打ち上げるんや！などの名言のかずかず。河内弁でエネルギッシュにモノづくりへの熱き思いを語る。
- 特記事項:出張にて承ります。

工場・施設見学

- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:要相談
- 受入可能人数:30名
- 所要時間:60分～90分

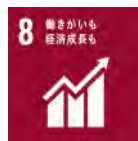
所在地◆〒577-0065 東大阪市高井田中5-7-3
HPアドレス◆<http://www.aoki-maido.co.jp/>
アクセス◆JRおおさか東線「高井田中央駅」・
大阪市営地下鉄「高井田駅」





持続可能な経営

「時間軸を100年、200年と地球規模で考え、今さえ良ければいいという考え方はしない会社でいたい」という想いで日々の事業を推進



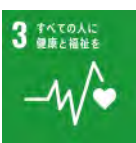
誕生日には社長からご自宅にプレゼント!?

アオキで働くことを誇りに思ってもらえたく、社員の誕生日には、社長から自宅へプレゼントを送付



技術の継承

現在、東大阪にあるモノづくり企業は減少傾向にある。廃業 = 技術がなくなるということ。モノづくりの技術を耐えさせないという熱い想いから、積極的にM&Aにも取り組んでいる。



元気に過ごしてもらえる意識づくり

2030年問題のテレビ番組の共有など、地球の問題を学んでいただけるようにしたり、メンタルヘルスの勉強会の開催など、社員が元気に過ごしてもらえる意識づくりをしている。



会社は教育の最後の砦

「会社は教育の最後の砦」という先輩経営者の言葉に、モノづくり観光に取り組む中で、企業の役割も重要という気付きを与えていただいているから、新卒社員の育成にも積極的に取り組んでいる。



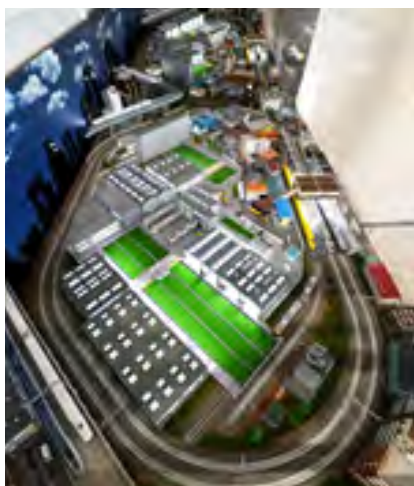
株式会社excellent

■創業1955年(昭和30年)

■N700系など各種新幹線車両をはじめ、JR、各私鉄各種特急、在来線、ロサンゼルス、ドバイ等車両用板金部品の製造。

■大手車両メーカーの協力会社として、材質は鉄、ステンレス、アルミを問わず、台車部品から構体、内外装、組立まであらゆる分野の加工に対応。

■「適正」「信頼」「挑戦」を理念として「お客様のニーズにあった信頼できるものづくり」を徹底している会社。



工場・施設見学

- ◆受け入れ可能日:平日のみ
- ◆受入可能時間:10:00~16:00
- ◆受入可能人数:~20名
- ◆所要時間:60分

会社概要を映像でプレゼンの後、社長から説明(20分)

↓

工場見学(25分)

↓

質疑応用(15分)

所在地◆〒577-0004東大阪市稲田新町2-5-6
HPアドレス◆<https://www.kk-excellent.co.jp/>



13 気候変動に
具体的な対策を



エコな乗り物“電車”を作る

内装をはじめ、電車に使われている様々な部品を製作しているわが社。二酸化炭素排出量が少ない電車はエコな乗り物として注目されている。その製造に携わられている企業も、環境問題解決の一助を担っていると考えている。

8 働きがいも
経済成長も



5 ジェンダー平等を
実現しよう



女性社員への配慮・従業員がイキイキとした職場づくり

休憩室や女性更衣室のリニューアルを行った際には、社員全員からヒアリングを行い意見を反映。その他にも、社員旅行の際には、必ず製造に関わった電車に乗って旅行に行くなど、仕事の誇りを実感できるような職場づくりを意識。

12 つくる責任
つかう責任



廃材の活用

製造業では、どうしても廃材は出てしまうが、その廃材を使った自社製品の開発にも取り組んでいる。

11 住み続けられる
まちづくりを



大学と連携した環境作り

休憩室と、制服リニューアル、廃材を使った自社製品の開発は、近畿大学の研究室・学生と一緒に取り組むなど、地域との連携も。



大阪ベンテック株式会社

■1972年(昭和47年)

■従業員数 58名

■会社理念/全従業員とその家族の幸せを追求するとともに社会に役立つ企業を目指す。

■事業内容/低高層ビルの外装パネル・幕板・笠木・庇やその他建築資材の製造を、製作図面作成から生地加工。表面処理。裏面処理。梱包・出荷までの一貫製造。

■業績/東京スカイツリーやあべのハルカスの軒天井パネルパネルなど、日本を代表する高層ビルでも使用されている。



工場・施設見学

- ◆受け入れ可能日:平日のみ
- ◆受入可能時間:10:00~17:00
- ◆受入可能人数:~20名
- ◆所要時間:60分

①会社代表挨拶の後、会社概要紹介ビデオ



②工場見学

機械加工ライン→溶接加工ライン→2次加工組立ライン



③質疑応答

所在地◆〒578-0901東大阪市加納4-15-36

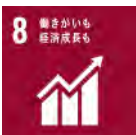
HPアドレス◆<http://www.bentec.co.jp/>

アクセス◆住道駅[出口1]から徒歩約26分



地域への想いを強く ロゴはラグビーボール

東大阪というモノづくりの街を「使わせてもらっている」という想いで事業推進され、そのお返しに近隣小学校への寄付など、地域への還元を行っている。ロゴもモノづくりの街の企業という意味を込めてラグビーボールの形を採用。



「考えることって楽しい！」 その気づきを与えたい

就業時間内に、好きなことを考えるフランクな会議を設定。現在は、バイク好きの社員が集まって、バイク乗りにとって便利な駐車場とそのツールを検討中。会社の資材を個人的に使っても良いか？という社員の打診からスタートしたが、「考えることは楽しいことだ」ということ気付いてもらいたい想いで取り組んでもらっている。



モノづくりに興味を持ってもらえる 子を増やしたい

後継者不足が課題の製造業。モノづくりに興味を持ってもらえる方が少しでも増え、その課題解決の一助になればと、モノづくり観光に参画。社員の意識も見学ルートを含めた考え方が日常的になり、整理整頓が進むなど、良い影響が多い。後継者不足が課題の製造業。モノづくりに興味を持ってもらえる方が少しでも増え、その課題解決の一助になればと、モノづくり観光に参画。社員の意識も見学ルートを含めた考え方が日常的になり、整理整頓が進むなど、良い影響が多い。



勝井鋼業株式会社

【強み・特色】

鋳物や異形材といった複雑で加工が困難な形状のモノの切削加工を得意とする。検査・検品、在庫、刻印、アッセンブリ、納品までワンストップで対応が可能。

【モノづくり観光への想い】

1957年にこの地で鍛造品製造販売の企業からスタート。以来50有余年周囲の方々のお陰で現在まで成長してきた。

これからも、様々な方々と交流し、気づきを糧に会社を成長するため、そして今まであまり人に見て頂く機会が少なかった社員の気づきにも役立つことを期待している。

【地元への想い】

地元への還元という意味で地元の連携をより強固にするために、企業間との連携のみでなく、モノづくり観光のメンバーとの連携も深め、地元をアピールしたい。

【閲覧者へのメッセージ】

「私たちは、頼られたい！」を合言葉に、若い社員も熟練者も相談しながら、共に成長することで、会社が発展することを願っています。モノづくり観光プログラムも社員自らが相談し、企画してくれています。見学に来ていただいて、意見を頂ければより社員、そして会社が成長すると思っています。



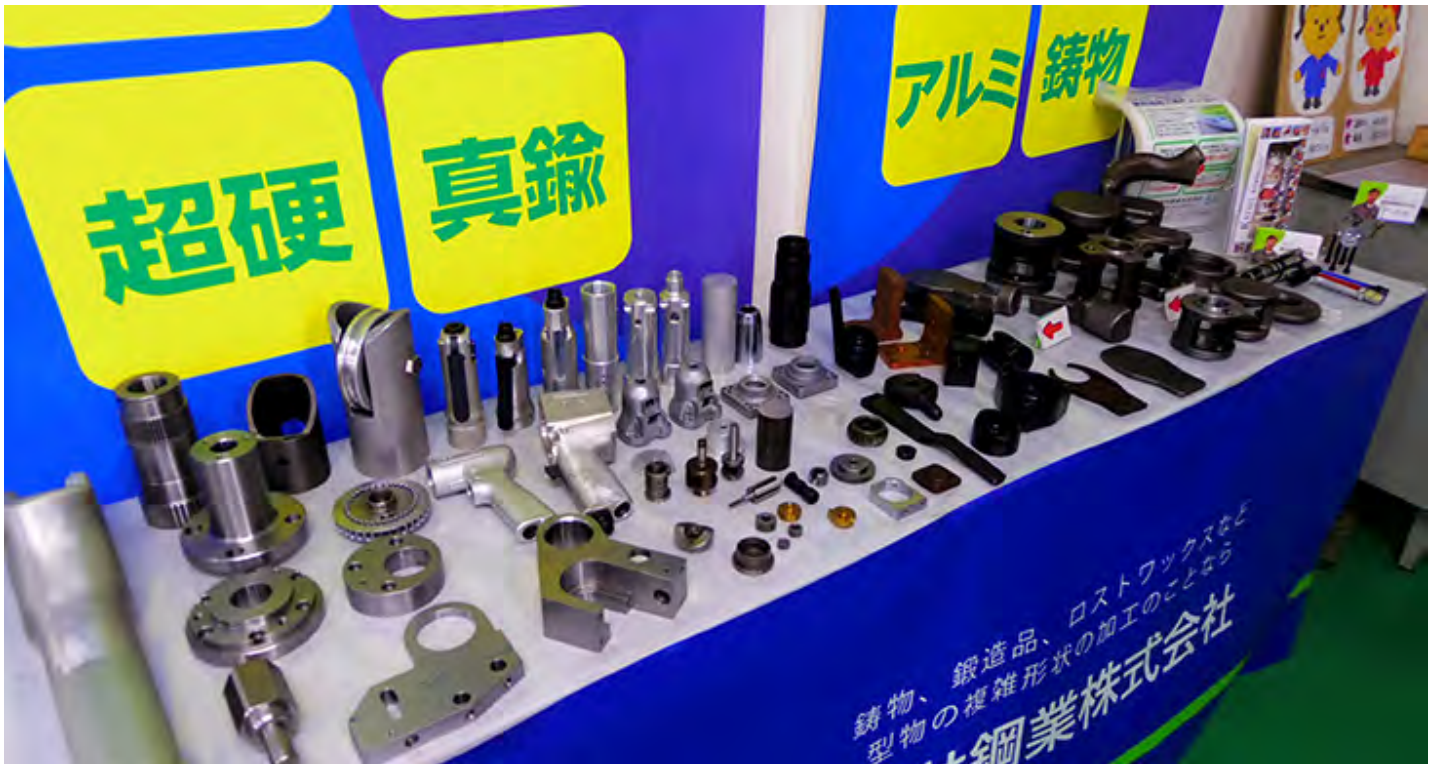
工場・施設見学

アルミ、鉄、銅等各種金属を溶かす→成形→削るの工程→
24時間体制のコンピューター制御による複合機の見学→
エアーツールを使っての部品製造工程の見学→エアーツール用の大量の空気を圧縮させるコンプレッサー室。

体験

エアーツールを使ってのネジを緩めたり、締める体験。

所在地◆〒577-0065 東大阪市高井田中1-8-14
HPアドレス◆<https://www.katsui-kougyou.co.jp/>
アクセス◆近鉄永和駅下車徒歩10分 駐車場有



11 住み続けられるまちづくりを



レクリエーション委員の設置と成長シートで成長を見える化！

2022年から、レクリエーション委員を設置。これからの活動なので、どんな企画が生まれるか期待している。同時に「成長シート」を作成中。業務の一通りの流れを知ってもらい一人前になってもらえるように工夫している。社員に働きがいを感じてもらえるように意識した取り組み。

8 働きがいも経済成長も



大学と連携の新しい取り組み

阪南大学のゼミと連携し、会社を客観的に評価してもらおうという新しい取り組みにも挑戦。若い方の目線も大事している。

5 ジェンダー平等を実現しよう



女性社員の積極採用

事務の方1名だけだった状況が、現在は、全体の3割に。女性が入ることで、職場が明るくなったと感じている。会社のキャラクターも社員の中から案があがりできあがった。名前も社員で考えるなど、良い循環が生まれている。

11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



「こーばへいこう！」への参画

製造業に触れてもらえる機会を増やしたいとの考えから「こーばへいこう！」にも参加。モノを作るという楽しさを知ってもらい、製造業への興味を持ってもらえるようにとの想いで取り組んでいる。



株式会社カワキタ

■創業/1946年(昭和21年)

■事業内容/キャラクター雑貨・文具・ランチグッズなどの設計生産/東大阪ブランド認定商品の企画・製造・販売/

■創業以来セルロイドからプラスチック用金型製作、射出成形で発展。

■現在は「ファブレスメーカー(工場を持たないメーカー)」としてモノづくりに取り組んでいる。

■こだわり/「創造するところ」を大切に。/消費者に使いやすいと感じてもらえることを第一に。



工場・施設見学

- ◆受け入れ可能日:平日のみ
- ◆受入可能時間:10:00~17:00
- ◆受入可能人数:~20名
- ◆所要時間:60分

- ①会社概要説明
- ↓
- ②陳列商品の説明
- ↓
- ③質疑応答
- ↓
- ④3Dプリンターの造形見学

所在地◆〒77-0843東大阪市荒川2-4-6

HPアドレス◆<https://www.k-kawakita.com/>

アクセス◆JR俊徳道駅から徒歩4分



SERVICE

カワキタは、プラスチックを中心とした OEMメーカーです。

- OEM** 様々な商品を生産しています。お客様の要望に応じた商品を生産しています。
- OEM** 様々な商品を生産しています。お客様の要望に応じた商品を生産しています。
- 自社製品** カワキタオリジナルブランドの商品を開発・販売しています。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう

ファブレスメーカーの強み

カワキタは、1984年から自社工場の金型・成型部門を廃止し、ファブレスメーカー※として事業を推進。そのため、フットワークの軽い、お客様のかゆい所に手が届くような経営に取り組んでいる。

8 働きがいも経済成長も

大企業にマネできないビジネスモデル

ギャルママ雑誌の存在を知った時に、そんなニッチな世界だけで成り立つ雑誌があるのかと感銘を受けた。大手にはマネできないニッチな業界で何かをしたいと考えられていた中のこの気づきをきっかけに、協力者を呼び「ギャルママ商品開発部」を組織。そこから様々な商品を生み出した。そのマインドが今も生き、自社ブランド「norn(ノルン)」や「ダッコリーノ」に繋がっている。

5 ジェンダー平等を實現しよう

8 働きがいも経済成長も

働き外(がい)改革

近年、働き方改革やワークライフバランスという言葉聞くようになったが、わが社は、2009年頃から「ワークライフバランス委員会」を設置し、働いている時間“以外”を充実させる働き外改革に取り組んでいる。産休・育休はもちろん、時間休なども導入し、調整しやすい環境づくりをしている。

※ファブレスメーカーとは：ファブレス (fabless) とは、その名の通り fab (fabrication facility、つまり「工場」) を持たない会社のこと。工場を所有せず製造業としての活動を行う企業を指す造語およびビジネスモデルである。具体的には、製品の企画、設計、開発は行うが、製造自体は全てか大半を委託し、製品はOEM供給を受ける形で調達し、自社ブランドの製品として販売する。

一般社団法人 河内木綿はたおり工房

河内の風土が育んだ河内木綿。その種子を絶やさないよう育て、地域の方に河内木綿への関心・愛着を持ってもらうため、綿の栽培、綿の実の収穫、加工等を多くの人と一緒にしている工房。初めての人でも機織り体験ができる。



体験

機織り体験/糸紡ぎ体験/綿繰り体験

- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:工房での体験は15名程度。
他の施設等への出張も可。
- 所要時間:60~90分

所在地◆〒579-8011 東大阪市東石切町3丁目2-13
アクセス◆近鉄奈良線「石切駅」

わが社のSDGs



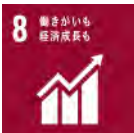
河内木綿を伝統を守る

木綿も東大阪市内で栽培され、河内木綿が出来上がる染め以外の工程を全て自分たちで、製造手法も大学教授等のアドバイスを受けながら試行錯誤で復活。かつての地域の主要産業であった河内木綿を守る想いで取り組んでいる。



工程で出てくるものを使いつくす想い

端切れはコースターやストラップ等の小物の商品に使用。これは昔からある考え方であり、「当たり前」の事を当たり前「もったいない精神」を忘れないようにしている。



のんびり楽しく

数人で始まった活動は、現在25名へ。強制はせずのんびりとスタッフの上達したいという想いととも成長して来た。年齢層は20代～80代と幅広く楽しく活動中。



「体感まち博」への参画

少しでも多くの方に知っていただけるよう、モノづくり観光だけでなく体験観光にも取り組んでいる。モノづくり観光と体験観光では参加者層に違いがあることが面白いと感じている。



株式会社協立化工業

■創業/1967年(昭和42年)

■2022年新社屋完成

■フッ素樹脂の特性である耐熱性・耐薬品性・絶縁性・すべり特性を最大限に生かし、フッ素樹脂素材を圧縮成形、精密切削・加工までを自社内でワンストップ生産体制を構築、製造販売を行っている。

■2016年大阪ものづくり優良企業賞受賞

■経営理念/社員の物心両面の幸福を追求する。



工場・施設見学

- ◆受け入れ可能日:平日のみ
- ◆受入可能時間:10:00~17:00
- ◆受入可能人数:~20名
- ◆所要時間:60分

- ①会社概要と製品の説明(約20分)
↓
- ②工場見学(20分)
↓
- ③質疑応答(20分)

所在地◆〒577-0025東大阪市新家2-8-26

HPアドレス◆<https://www.kyoritsuka.co.jp/>

アクセス◆長田駅[4]から徒歩約10分



8

働きがいも
経済成長も



人にしかできないことに取り組んでより良いものを世の中に

技術革新が進む現代。モノづくりの世界も機械化が進んでいる。そんな中、人にしかできないことは何かを考えて取り組まれているのがわが社。特に社員間・お客様とのコミュニケーションは大切にしている。

4

質の高い教育を
みんなに



意識高く働いてもらうために

モノづくりは、基本的に数社に渡る分業。誰か1人でも手を抜いてしまうと不具合が発生するという責任を持って取り組む必要がある。社員にもその意識を持ってもらえるように、整理・整頓・清掃・清潔・しつけという通常の5Sに加え「Saefy(安全)」を加えた「6S活動」に取り組み中。定期的に報告会も実施し、継続した意識啓発を実施。

11

住み続けられる
まちづくりを



1人でも多くモノづくりに携わって もらえるように

以前から、地域の学校の受入はしていたが、後継者問題が課題の製造業の少しでも役に立てるように、1人でも多くモノづくりに携わってもらえるようにとの思いから、モノづくり観光にも参画。新社屋建設時には、見学してもらえるためのルートも想定に入れた作りで建設。

15

陸の豊かさも
守ろう



製造の過程で出る廃材はリサイクルに

作業工程で出る切子は、分別して必ずリサイクルに。追加のひと手間がかかるが、環境のために取り組んでいる。

共和鋼業株式会社

■創業/1968年(昭和43年)

■業務内容/菱形金網製造

菱形金網は、使用する線材の種類が多さで製品の豊富さは各種金網の中でも群を抜いており、大規模公共工事から家庭の中まで多岐に亘る。

■雪止めネット・雪庇防止装置・ニットフェンス構造・菱形金網を使用した外壁構造でそれぞれに特許取得

■フェンス用の金網は一般的には網目50mmだが、この会社で10mmの網目の製造技術がある。

■若きリーダー森永社長は、菱形金網の新たな可能性を開くため、ベンチやスツールなどの家具、バッグやペンケースなどのアイデア商品の開発にチャレンジ、熟練工の技と相まって実現している。

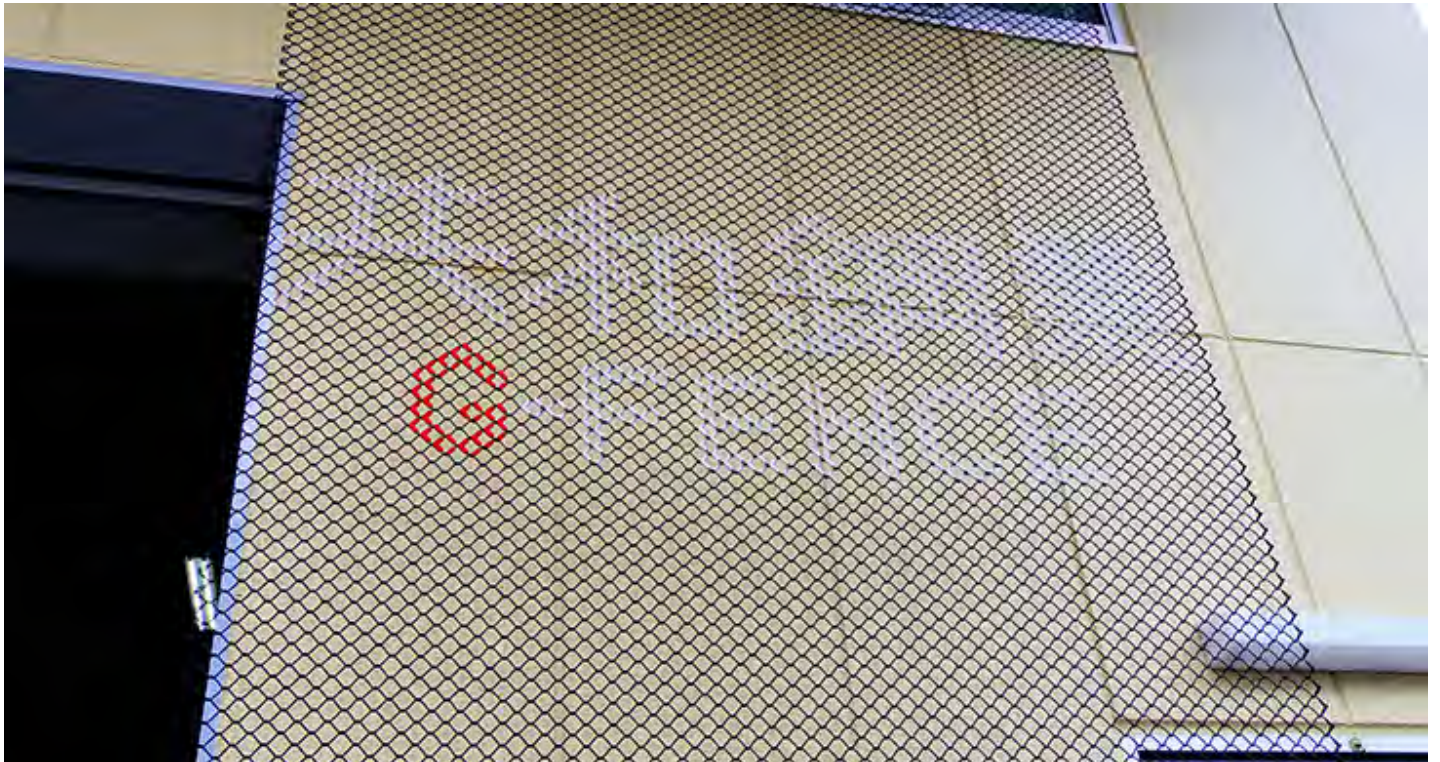


工場・施設見学

- ◆受入可能時間:10:00~16:00(午前中が受け入れやすい)
- ◆受入可能人数:~20名
- ◆所要時間:60分

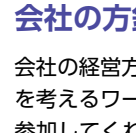
- ①会社概要と製品の説明(10分強)
- ↓
- ②工場見学(30分強)
- ↓
- ③質疑応答(15分強)

所在地◆〒578-0921東大阪市水走5-8-10
HPアドレス◆<https://www.kyowakogyo.net/>
アクセス◆吉田駅[出口3]から徒歩約19分



ひし形をあらゆる所に

ふと気づけば、よく目にしている金網だが、近畿大学とのお付き合いの中でフェンス等既存の用途以外の用途で製造する機会をいただき、製造の幅が広がった。小さいひし形の目を作ることができるのがわが社の強みで、それを最大限活かした事業を展開中。



会社の方針を社員と一緒に検討

会社の経営方針を見直すタイミングで、デザイン経営の専門の先生と繋がりをいただき、その方のご提案で社員全員で経営方針を考えるワーキングを数回に渡って開催。これまでの勉強会等では消極的なことがあった社員も、このワーキングでは積極的に参加してくれ、新しいキーワードや意見が出てきたことも印象的。それをまとめる冊子が作成され、同じ方向に向かって進むための意思統一の機会になった。



会社全体の若返り

数年前から、会社全体の若返りも行われ、現在では40代が最も多い。社長は社員とのコミュニケーションを取ったり、毎週の朝礼の中は各部署の情報共有したりと、交流が生まれるように工夫され、離職率は低い水準で推移。



近畿工業株式会社

■創業(設立)/1951年(昭和26年)

■業務内容/油圧シリンダーと関連部品(理・美容椅子、歯科治療椅子や診察ベッド用)/クラッチ・搬送用ローラー(芝刈り、茶摘み用)/油圧配管継手やアタッチメント等の部品製造(建設機械や重機用)

■認証/ISO9001(品質)1999年

ISO14001(環境)2012年

■表彰/東大阪市優良企業表彰(2011年)

大阪府モノづくり優良企業賞(2013年)

■会社の礎/「気配り・心配り・おせっかい」

■田中社長のモットー

コミュニケーションを密に、お客様第一で当たり前前の事を当たり前に行動できる社員を育てる「人間企業」を目指す。



工場・施設見学

◆受入可能時間:10:00~17:00

◆受入可能人数:~20名

◆所要時間:60分

①工場見学(20分)

↓

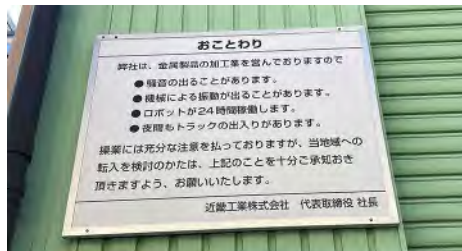
②田中社長から会社概要説明(20分)

↓

③質疑応答とアンケート記入(20分)

所在地◆〒578-0953東大阪市本庄2-1-25
HPアドレス◆<http://www.kinki-ind.co.jp/>
アクセス◆鴻池新田駅から徒歩約15分





9 産業と技術革新の基盤をつくろう



IoTの積極導入

数年前からIoTを積極導入され、工場の自動化に取り組んでいる。かつては、海外(ベトナム)に現地法人を作って海外進出したいと考えていた時があったが、IoTを推進した際に、現地だけでなくでもできることに気づいた。日本でメインの機能を持ちながら、世界中に製造のネットワークを作っていけると良いと考え、ITを活用した製造業のあり方を模索中。

8 働きがいも経済成長も



「全部自分で」から「チームで」へ

昔は、経営者は何でも知っていて、何でもできて、全部経営者が決定しなければいけないという想いで推進していたが、今では「チームで取り組む」という考え方に。一緒に考えて、考えた結果失敗しても仕方がない。失敗することを恐れないという組織にしたいという想いで経営している。

11 住み続けられるまちづくりを



地域への配慮「おことわり」看板

モノづくりには、騒音や二オイの問題は必ずついてくる問題。お隣りが、一般住宅になるタイミングで掲示「おことわり」看板を設置。騒音やトラック出入りについてのご案内を記載し理解を仰いでいる。

17 パートナーシップで目標を達成しよう



海外経営者の視察も受け入れ

JICAによる海外の中小企業経営者の研修受け入れも。日本の良さを改めて知る機会にもなり、良い機会だと感じている。



株式会社繁原製作所

【強み・特色】

専用設備、専用工具、治具を必要とする大手メーカーの専用ラインでしか製造できない部品をこの会社のみで、完成品にする設備、技術、検査装置を有する。

素材から製造後の品質確認迄1つの工場で全社員で取り組むので、品質が保証される。

【製品等を見たり、感じられる場所】

レクサスのエンジンギヤ等自動車の部品として使用されている。また、大手企業で製作される試験的なEV車両に向けて、専用に設計、製作する減速機を多数納入、全日本大会に参戦するドライバーの要請を受け、製品化した特別なミッションは有名なショップを通じて、国内外で販売されている。

【モノづくり観光への想い】

提案力、技術力を販売し顧客を失望させないという実績があるので、常に安定した受注がある。これからの製造業のモデルになると自負しており、若い人にモノづくりの面白さに気づき、職業として選んでもらいたいと、可能な限り見学の機会を提供している。

【東大阪への想い】

モノづくりの町東大阪を概念ではなく、実感してもらえれば嬉しいと思う。

【閲覧者へのメッセージ】

健康経営優良法人2020(中小規模法人部門)認定企業として、貴重な財産である従業員の健康管理に投資している。客、仕入れ先、社員の3者が満足できる製品を造ることを目指している。

お陰様で、金型なしで3Dモデルの通りに金属の塊から必要な部品を削り出す加工方法など、他社ではできない技術を有しており、最新機械も含めて、わが社の技術を見学に来て頂ければ、なにが町工場の明るい未来を感じて頂けるかと思っている。



工場・施設見学

幅広い設備ラインナップの高性能歯車加工部門→金属の塊から3Dモデル通りに精密に削り出し3D加工部門→高精度で、複雑な部品の加工精度を保証する、3次元測定器、歯車測定器、真円度測定器、硬度測定器、バランスングマシン、磁気深傷装置、レーザーマイクロSCOPE計測器による非接触での形状、面粗さの評価のジャンルの見学(この部分は精密さが求められるので、基本ガラス越しでの見学)→繁原製作所製EVレーシングカーの見学及び試乗(非走行)

体験

- ①各人が描いた文字や絵をレーザー刻印にて加工し、KHプレートになる。
- ②同社製のEV車の運転席に座って、スポーツカーを体験することができる。

所在地◆〒578-0973 東大阪市東鴻池町5丁目2-7

HPアドレス◆<https://www.shigehara.co.jp/>

アクセス◆JR鴻池新田駅 徒歩15分



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



13 気候変動に
具体的な対策を

エネルギー関係の事業を拡大予定

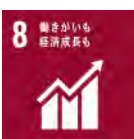
「できないができるに」をキーワードに他社にはできない技術を提供。近年では、大手企業と廃熱をエンジンの動力に変える新技術の開発にも携り、今後は電気自動車を中心とした新エネルギー関係の事業の拡大に取り組む。



11 住み続けられる
まちづくりを

東大阪にしかない環境を最大限に活かしたい

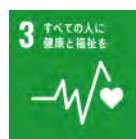
東大阪の町工場数は、約6,000。この密集度は、他ではない特徴。先述の「他社にはできないこと」の提供は、この東大阪という場所にあることも関係している。



8 働きがいも
経済成長も

「こーばへいこう！」への参画

2021年度から「こーばへいこう！」へ参画。普段なかなか家族に働いている姿を見せることがない社員たちを意識し、まずは、一般の方というより、社員の家族をお出迎えするというテーマで、内容の立案などは全て社員に任せて取り組んでいる。繁原製作所で働く誇りを持ってもらいたい。



3 すべての人に
健康と福祉を

働きがいある環境づくり

2020年から健康経営の優良法人をいただいております。中でも上位500社である「ブライツ500」にも選ばれたご経験も。SDGsについても、京都銀行に協力を仰ぎながら宣言書を作成している。

株式会社秀英

環境に優しいペーパートレーの製造販売の会社。「地球規模で考え、地球レベルで行動する」「自分達のできる行動をする」などの言葉を環境にあてはめている、思いの深い会社。内側のフィルムと外側の紙容器が簡単に分別できるリサイクル紙容器を開発。商品名は「ホッかる」。ホッとした気持ちで食べて、食べた後はリサイクルに。人も資源も地球も助かる。から命名。



工場・施設見学

工場内の見学と「地球環境」の話

- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:10名
- 所要時間:60~90分

所在地◆〒578-0921 東大阪市水走1-16-37
HPアドレス◆<http://www.hokkaru.co.jp/>
アクセス◆近鉄けいはん奈線「吉田駅」





駅に分別のごみ箱が設置される前から分別を意識した事業



わが社の商品、分別できる紙製容器「ホッかる」は、2000年の中之島まつりで初めて使用していただいた。駅でもまだゴミの分別がされていなかった頃のいち早い開発だったと自負している。また、紙の業界では「FSC認証」※を取ることが当たり前の業界。もちろんわが社でもその認証を取得している紙を使用。さらに、「ホッかる」の活動は、小学5年生の社会科の教科書にも掲載していただいている。



女性の割合が増加

以前よりも女性の割合が増加。そのことにより、休憩スペースやトイレの男女別化など、職場環境の改善が進んでいる。



スポーツも支援で地域に盛り上げを

高校野球の聖地甲子園は、土を持って帰ることができるが、高校ラグビーの聖地「花園ラグビー場」は、何も持って帰ることができず出場の記念になるものがないということに気づき、ラグビー場に使われ、焼却処理になってしまう芝生を練り込んだ紙で色紙を製作。全国大会出場の日記品として寄せ書き等に利用いただいている。東大阪に拠点を置くサッカークラブ「FC大阪」にも同様のご支援をさせていただいている。



株式会社盛光SCM

【強み・特色】

約60年ずっとモノづくりを手がけ続けてきた私たち。つくっている主なモノは「照明器具」と「ダイカスト金型・部品」ですが、製造メーカーからブランドメーカーとして次なるステージへ挑戦しています。日本の職人技を活かしたインテリア製品を幅広い発想と技術力で世界へ発信していきます。

【用途】

光の質にこだわった照明器具は、ホテル、レストラン、百貨店、ブランドショップ、美術館などで、空間演出のために使用。

ダイカスト金型は、自動車や電車、美容院の椅子の部品など、様々なものをつくるために使用されている。

【モノづくり観光への想い】

閉鎖的だった町工場をもっと身近な存在にしたい。モノづくりの楽しさ、職人のカッコよさをみんなに伝えたい。という想いから、オープンファクトリーイベント「こーばへ行こう！」を開催。そのご縁で、大阪モノづくり観光プログラムに協力。協会に発信、集客をしてもらい、町工場は受け入れ協力をする中で自社のメリットを構築し、東大阪の発展に貢献するプログラムであると考えている。

【地域への想い】

「モノづくりのまち 東大阪」の実情が後退し、周辺の商店が衰退していくのが忍びなく、町工場の仲間と、何とかして町を活気づけたい、との想いで活動している。

工場は「キツイ、汚い、危険」といった3Kのイメージから「カッコいい」というイメージに変えるべく、社内全体で工夫し、話し合い、職場環境を変えつつあります。そういった取り組みでモチベーションが上がり、業績も上がると考えています。改変実践中のわが社を覗きに来てください。



工場・施設見学

各施設の見学

板金工場: 弊社の創業は板金加工のヘラ絞りから。主に照明器具の部品を製造する、各種板金加工(金属板を曲げる、プレスする、抜く等)を案内。

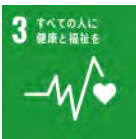
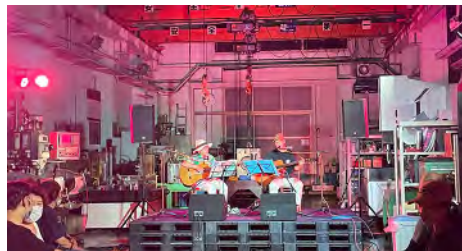
金型工場: アルミダイカスト金型を主に製造する工場。大型の各種工作機械を用いて、金属の塊から加工。最終は人の手による精緻な組立て行程になる。

照明組立工場: 主に店舗で使われるLED照明器具の組立。上記3工場に加え、照明の配光測定室、温度検査室、総合事務所、人工芝を敷いた食事スペースなども案内。

所在地◆〒577-0848 東大阪市岸田堂西2-8-25

HPアドレス◆<https://www.seiko-scm.co.jp/>

アクセス◆大阪市営地下鉄千日前線「北巽駅」1番出口から徒歩12分



3 すべての人に健康と福祉を



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

長期で働ける環境づくり

週休3日やペット同伴OKな会社になりたい。長く働くには、職場の環境はもちろん、プライベートな時間も充実して心身ともに健康な状態を作ってもらうことが重要と考えている。



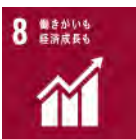
5 ジェンダー平等を實現しよう



17 パートナシップで目標を達成しよう

性別だけでなく、様々なものをボーダレスに

ジェンダー平等はよく性別のことを言われるが、部署間の隔たり、企業間の隔たりなど、性別以外にもある様々な隔たりをなくしていく活動も該当すると考えている。事務所の改装では、事務所と工場を同じフロアに配置。さらにドアがないオープンな状態を確保。また、製造業がもっと繋がることできるように、わが社の社屋にシェアファクトリーにする構想もある。



8 働きがいも経済成長も

企業内起業制度の導入

後継者不足に一石を投じたい。そんな思いから、導入し始めたのが「企業内起業」。事業継承＝起業家を育てることだとの考えからの導入。既に社員1名が起業に進み始めた。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



17 パートナシップで目標を達成しよう

工場の五毛作

企業間連携が必須な業界。その流れをより円滑にするために、持論「工場の五毛作」を展開していく。①モノをつくる／②交流(出会い)をつくる／③人をつくる／④アート(技術)を魅せる／⑤ショップの運営の5つ。既に活動は始まっており、「こーばへいこう！」や「Co-Bar」もその1つ。これからの東大阪のモノづくりとわが社に期待いただきたい。

株式会社高瀬製作所

鉄・黄銅・ステンレス・アルミ等の切削加工の会社。高瀬社長は、まあ 頑固な職人さんです。口下手やといわれますけど、切削のことをしゃべりだすと止まりません。モノづくりに思いの深い社長さんです。



工場・施設見学

鉄・黄銅・ステンレス・アルミ等の 切削加工の見学

- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:20名
- 所要時間:60~90分

体験

切削加工(名いれ)体験

所在地◆〒578-0902 東大阪市川中5-24
アクセス◆近鉄けいはんな線「新石切駅」





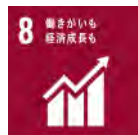
全ての始まりがモノづくり

修学旅行等で見学に来てくれた生徒さんには、「モノづくりがないとモノを買うことも、道路ができることもない。全ての始まりがモノづくりなので、その大切や素晴らしさを知って、これからあなたたちは、何でもできるんだから、色々な選択肢を知って進んでいって欲しい」と伝えている。
モノづくりの楽しさを知るきっかけになればという想いでモノづくり観光に取り組んでいる。



価格競争にならない仕事と職人の育成

価格競争にならない、高瀬製作所にしかできない仕事を常に意識している。また、若い社員をわが子のようになるべく近い距離感で育成することも意識している。そんな中で、長く続けてくれている社員がいるのは、ありがたいことだ。



ワークライフバランスを意識

製造業は、長く稼働した分だけ売上に繋がるというワークライフバランスとは真逆の世界にある。そこでワークライフバランスを整えていくためには、生産性の向上が必要。その取り組みもスタートしていきたいと考えている。



新たな領域へもチャレンジ

リーマンショックの打撃を受けた際にわが社の技術を活かして、ペット向けカプセルを製造。インターネットを中心に販売。直接利用者に販売できる機会は貴重なので、メインの事業とバランスをとりながら進めていきたい。

株式会社鳥羽瀬社寺建築

宮大工、棟梁である鳥羽瀬公二氏が率いる会社。東大寺大仏殿、宮島厳島神社、四天王寺五智光院など多くの国宝、指定重要文化財の修復に携わる。講演、工場見学、体験を通じて鳥羽瀬棟梁の日本建築の伝統美を守る熱い思いを伝えたい。



講演

古建築の修復をとおして

- 受入可能時間: 要相談
- 受入可能人数: 要相談
- 所要時間: 50分～60分
- プログラム料金: 要相談

工場・施設見学

- 工場所在地: 奈良県小倉町
- 受入可能時間: 要相談
- 受入可能人数: 20～40名
- 所要時間: 60分～

体験

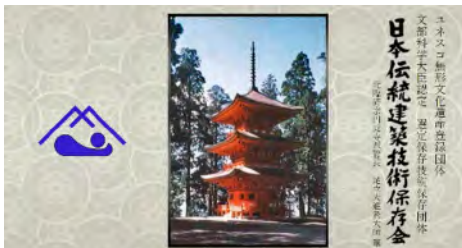
木工体験、古代ヤリガンナ 道具の体験/建築彫刻の体験

※奈良工場にて

所在地◆〒579-8001 東大阪市善根寺6-9-28
HPアドレス◆<http://www.tobase-syaji.co.jp/>
アクセス◆近鉄けいはんな線「新石切」



わが社のSDGs



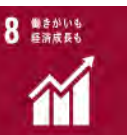
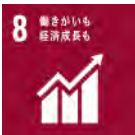
1,000年持つ木造建築 本来の技術の継承

寺社を見ていただくとわかる通り、本来の木造建築は1,000年持つ。それが本来の木造建築。近年、そうではない木造建築が増えていることに危機感を覚え、日本伝統建築技術保存会を設立。伝統技術の継承に努めている。日本伝統建築技術保存会はユネスコ世界無形文化遺産登録団体。



担い手育成

伝統建築は、設計～大工までを全てできる方が、より良い技術者となれると感じ、若手従業員には、現場経験はと同時に、様々な本を読むようにも指導している。マルチに活動できるようになるのは難しいことだが、そんな人材を育成していきたい。



端材の活用

現場で出る端材は、これまでも薪ストーブの燃料として利用してきたが、もう少し幅を広げたいと考え、従業員に意見を聞きながら、子ども向けワークショップなども開催を始めている。



文化財を未来につなぐための森づくりにも

寺社だけでなく、古民家に使われる資材、屋根に使われる檜皮や茅など、伝統建築に使われている建築資材自体の枯渇が進んでいる。それらを守るため、業種を超えて、200年先の森を考えようというコンセプトで「文化遺産を未来につなぐ森づくり会議」という組織をの理事も務めさせていただいている。



株式会社中農製作所

難削材を精密切削技術でミクロンオーダーでの高精度加工を得意とする、まさに精密切削加工のエキスパート。モノづくりの町東大阪の地の利を活かし、資材調達、精密切削加工、熱処理、表面処理、組立までの一貫した受注生産が可能。2007年元気なモノづくり中小企業300社に選定された。作業の際に出る油の処理も開発する環境保全の企業でもある。



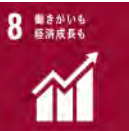
工場・施設見学

製品が作れる工程や、ものづくりの現場の雰囲気を感じ

- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:35名
- 所要時間:60~90分

所在地◆〒579-8037 東大阪市新町21-26
HPアドレス◆<http://www.nakanoss.com/>
アクセス◆近鉄けいはんな線「新石切駅」・近鉄奈良線「東花園駅」





OKRという新しい経営手法に挑戦

2020年頃から、OKR (Objectives and Key Results (目標と主要な結果))という新しい経営手法に挑戦し、売上等の達成率を追うような形ではなく、社員全員が、それぞれ必ず何か新しいことに挑戦する目標設定にしている。これからのわが社の変化に期待いただきたい。



得意分野を伸ばす環境づくり

上記のOKR手法もその1つだが、直接業務に関係ないことでも新しい取り組みをする姿勢を尊重する環境づくりを意識している。



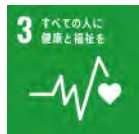
象印とのパートナーシップ

魔法瓶メーカーの「象印」とマイボトルの洗浄機の開発に取り組んでいる。マイボトルを持つことを習慣化してもらうための課題となっている洗浄を外出先でも行えるようにできればより普及するのはどの想いからの取り組んでいる。「おおさかマイボトルパートナーズ」にも登録し、マイボトル活動を推進している。



ベトナムとのパートナーシップ

現在ベトナムに子会社があり、日本でも30名ほどベトナム人スタッフに働いてもらっている。日本人・ベトナム人区別なく、全員が同じ雇用形態で、社員それぞれの技術で評価。



楽しみながら健康づくり 「ワールドウォーキングマップ」

社員をチーム分けし、チーム対抗で、一定期間内のメンバーの合計歩数を競うイベントを実施。歩数を距離換算し、世界のどこに行けるかを地図に落とし込み、世界一周を目指すというもの。楽しみながら健康づくりができるのが好評で、数年に渡って取り組みが続いている。



株式会社日清精工

世の中に溢れるプラスチック製品は、どれも金型を用いて成形し生産します。昭和48年創業の、その金型の製造メーカー。

大きな金型は7tクラスから手の平サイズの小さな金型までサイズは様々ですが、アミューズメント用品、自動車部品、住設機器、雑貨まで分野を問わず金型を製造する会社。

3Dデータを用いて金属を切削しますが熟練した職人の技術も必要不可欠です。最新ソフト、コンピュータや3Dプリンターといった最新の切削設備と長年培ったノウハウで取引先からは絶大な信頼を得ている。

また自社商品でiPhoneケース、つけまつけケースを製造販売しておりOEM製作では各キャラクターのiPhoneケースなど数多くのオリジナル商品も手がけ成長し続ける会社である。



工場・施設見学

金型加工・事業説明

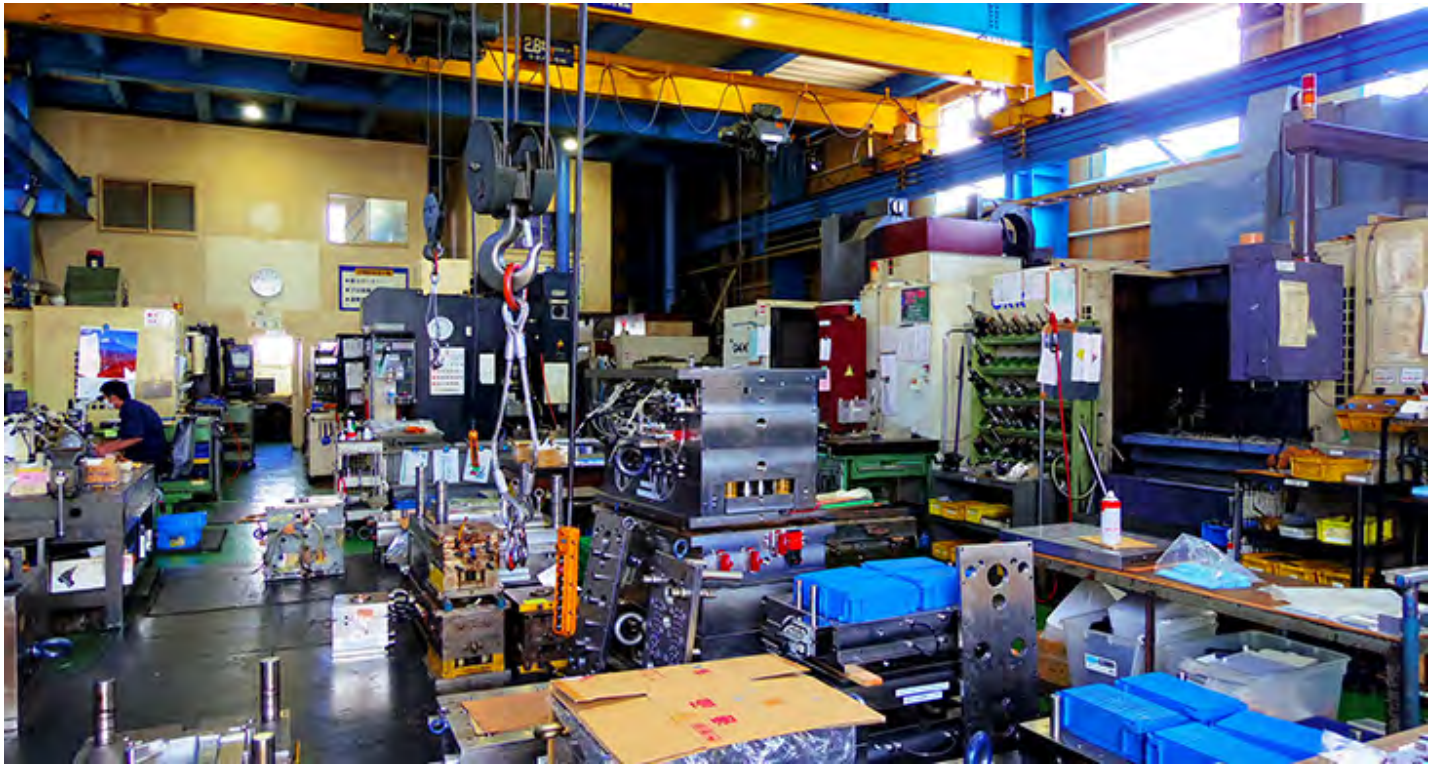
- 事業案内→工場内見学(加工機械の説明・製品等)
- 所要時間60分

体験

- 加工製品からの切り取り

所在地◆〒577-0835 東大阪市柏田西1丁目11-12
HPアドレス◆<http://www.nissinseikou.com>
アクセス◆JRおおさか東線 「長瀬駅」徒歩5分





自分たちの技術を守りたい

わが社のは、プラスチック製品の金型の製造業者。環境問題が問われるようになり、脱プラスチックのイメージが強いが、プラスチック製品がなくなることはきっとないと感じている。なくならない限り、自分たちの技術を守り続けるという強い意志で、業務に取り組んでいる。



「地域若者サポートステーション」の協力企業

働くことに悩みを抱えている方の、体験就労の受け入れ先「地域若者サポートステーション」の協力企業として登録している。モノづくり観光の受入の際に、そのスタッフが担当になって説明してもらったことがきっかけで、大きな声を出したり、会社のことを勉強したり、目つきが変わったのが印象的。業務とは少し離れた活動も、ひよんなことから相乗効果を生み、最終的には本業に繋がるということを感じた。



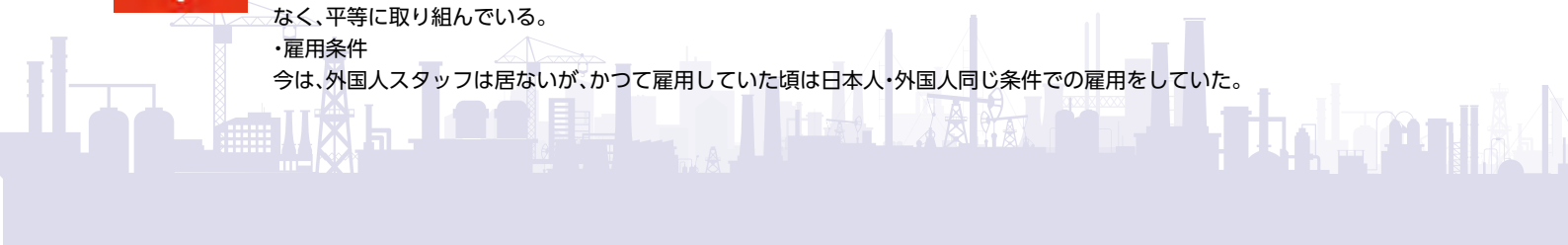
平等を心掛けた取り組み

・お掃除当番

自分たちが使うものは、自分たちでキレイに。という考えで、トイレ掃除はじめ、清掃は当番制にて対応。そこに社長も社員も区別なく、平等に取り組んでいる。

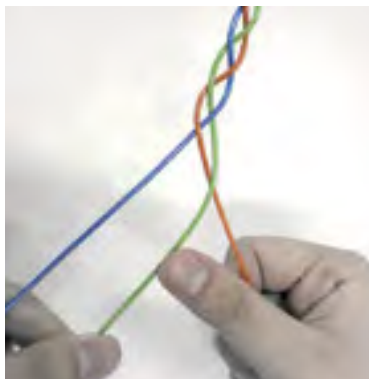
・雇用条件

今は、外国人スタッフは居ないが、かつて雇用していた頃は日本人・外国人同じ条件での雇用をしていた。



日本化線株式会社

産業用カラーワイヤーのほか、クラフト用デザインカラーワイヤーを商品化し、夢のある手作りホビー”カラーワイヤークラフト”の新市場を開拓。企業理念は”素材市場の創造と革新”。ITが発達しデジタル化が進む中で、アナログ文化の手作りの楽しさが広がっており、今後カラーワイヤークラフトの分野は大きく拡大すると思われる。工場の見学とカラーワイヤー体験教室が可能。



体験

カラーワイヤークラフト体験

- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:要相談
- 所要時間:60~90分
- 詳細:東大阪ブランド認定商品であるカラーワイヤーを使用してのクラフト体験

所在地◆〒577- 0067 東大阪市高井田西3-9 -25
HPアドレス◆<http://nippoly.com>
アクセス◆近鉄奈良線「布施駅」・大阪市営地下鉄「深江橋駅」





4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを

小学校への出張授業

他のモノづくり企業と連携しながら、毎年17社で53校5,000人ほどの地域の小学生たちに対して、出張授業を行っている。

モノづくりの素晴らしさを伝えていきたい思いからの取り組み。

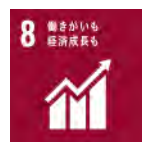


9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

カラーワイヤークラフトから 手づくり文化の拡大を

「自遊自在」という商品名で提供しているわが社のカラーワイヤ。ホビー用ワイヤーの全国シェアは90%。小学校の教材としても使用いただいている。

教材とはいえ、先生もすぐに教えられるものではないため、同時に、マイスター養成講座を合わせて実施。手作りの楽しさを子ども達に上手に伝えられる存在の育成にも努めている。



8 働きがいも
経済成長も

若い世代の社員も増加

近年は少しずつ、社員の若返り化も進んでいる。東大阪ブランドにも登録され、社員に少しでも会社に誇りを持ってもらえる環境づくりを心がけている。



ノースヒルズ溶接工業株式会社

【強み・特色】

ワンストップで提案するため、最高水準の溶接機器を保有しており、他社で行うことの多い、溶接後の歪取りはほとんどする必要のない仕上り。丈夫で長持ちする製品を作る技術を有する。精密機械等特殊な装置の溶接等普段は見る事ができない箇所でも活躍している。

【用途】

特殊な装置なので、身近ではないが、端材や廃材を利用して、技術を駆使し、スタッフがペットボトルキャップや、ペーパーホルダーなども試作として製作している。

【モノづくり観光への思い】

地元の支えがあったから会社運営ができています。その地元が、注目されるのは嬉しい。また、「モノづくりは儲かる！」が実感なので、一人でも多くの若者その楽しさを伝えたい。

【地元への想い】

東大阪という立地を生かし、近隣工場と横の連携を図り協力関係を構築している。この関係が今後も続くことを願う。

代表北坂は学生時代より起業に興味を持ち、試行錯誤の結果現在に至っている。お陰様でパートナーにも、恵まれ、溶接、モノづくりに興味を持つ若いスタッフも増え、当社にしかできない技術の創造集団として100年企業を目指す若い会社へどうぞ！



工場・施設見学

各種溶接の工程見学

溶接とは？という基本の説明の後、TIG溶接、異種材溶接、薄板溶接、ロウ付け溶接等見学日により異なるが、各種溶接の工程を見学。スタッフが端材を利用して試作したごみ箱、ペーパーホルダー等も手に取って試してみることが可能。

所在地◆〒578-0984 東大阪市菱江2-1-23
HPアドレス◆<https://www.nhillz.jp/>
アクセス◆最寄駅は近鉄けいはんな線「荒本」駅「4番出口」

わが社のSDGs



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



習得に5~10年かかる技術を機械化で人材不足に貢献

溶接の種類に「ティグ溶接」という技術があり、その技術は、習得に5~10年かかるのが一般的。それをレーザー溶接機を使ってできる機械を開発。後継者や人材不足が課題となるモノづくりの一助になればと考えている。

8 働きがいも経済成長も



社員全員と1on1ミーティングで関係性構築

わが社では、評価指標を全社員統一。評価のタイミングでは、必ず全員と1on1ミーティングを実施し、悩んでいることや意見等をヒアリングすることで、関係性構築に努めている。社員を平等に評価することで、働きがいをもってもらいたい。

4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



地域への貢献=会社の成長

「東大阪ほど工場が密集している地域は、他にはない」と感じている。東大阪への還元・貢献が、会社の成長につながるとの考え、モノづくり観光へも参画。モノづくり観光の受入時には、見学者を飽きさせないように、学校と同じ環境になるようになどを意識しながら、試行錯誤を重ねご案内させていただいている。



野田金属工業株式会社

野田金属工業の魂と言えるのが鍋(下の写真)。名称は「再び命を与えてくれた鍋」。その由来は感動もの。営業内容は、建築用金属製品の製造施工、空間オブジェの制作加工、ステンレスギフト・ステンレスアートの制作。その特徴は品質を求められる一品生産にこだわったもの作りで、職人さんのものづくりへの深い心と技術で1点1点丁寧に作られる。



講演

「鍋への想い」を原点に、モノ創りを語る

- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:要相談
- 所要時間:30分
- プログラム料金:要相談
- 内容:戦争を体験された野田社長。モノ創りに対する深い思いや、ご自身の体験談を語る。

工場・施設見学

絶つ・切る・抜く・曲げる・造るの 金属加工の工程を見学

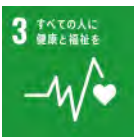
- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:20名
- 所要時間:60分

所在地◆〒578-0977 東大阪市鴻池徳庵町4-8
HPアドレス◆<http://www.art-noda.jp/>
アクセス◆JR片町線(JR学研都市線)「徳庵駅」



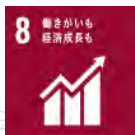
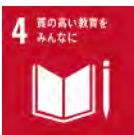
「よく聞く」ヒアリング力で、できないではなく、どうやったらできるかを考える

わが社には営業が居ない。基本的にお客様からの依頼で事業を推進している。お客様1人1人の癖を理解し、お客様が求めていることを引き出せるようなコミュニケーション能力が社員には必要。そこにはマニュアルはないが、お客様のことを第一に考えれば、自ずと見えてくるものを、社員同士で共有しながら、事業に取り組んでいる。



社員を想った健康作り

お客様を想うように、社員のことも大切にすることを意識している。毎朝全員でラジオ体操の実施。健康診断は社員が病院を訪れるのではなく、検診車が会社に来てくれる形式で少しでも受診しやすい環境を。その他、様々な健康相談（メンタルも含む）を受けてもらえるコールセンターの契約等、健康経営にも取り組んでいる。



長く働いてもらうための環境づくり(時間単位の有給休暇の導入と年齢給)

様々なライフステージの社員に働いてもらっている。頑張っている方が損しないような環境づくりを目指し、時間単位の有給休暇を導入。また、モノづくりは、職人・その道のプロであることが重要と考えられ、技術の習得には時間もかかることから、年齢給も導入。「社員のため」と「会社のため」のバランスを大事にしている。



株式会社富士製作所

ねじ造り一筋に60有余年。大型切削ナットのトップメーカー。大型切削ナットは特殊な機械設備と熟練工の技術が必要で、工場長が高度熟練技能者に認定されている。高度熟練技能者とは、概ね20年以上の実績を有し、機械では代替できない高度な技能を駆使して、高精度・高品質の製品・試作品等を作り出すことができる技能者のこと。徹底した5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)と改善にも取り組んでいる。

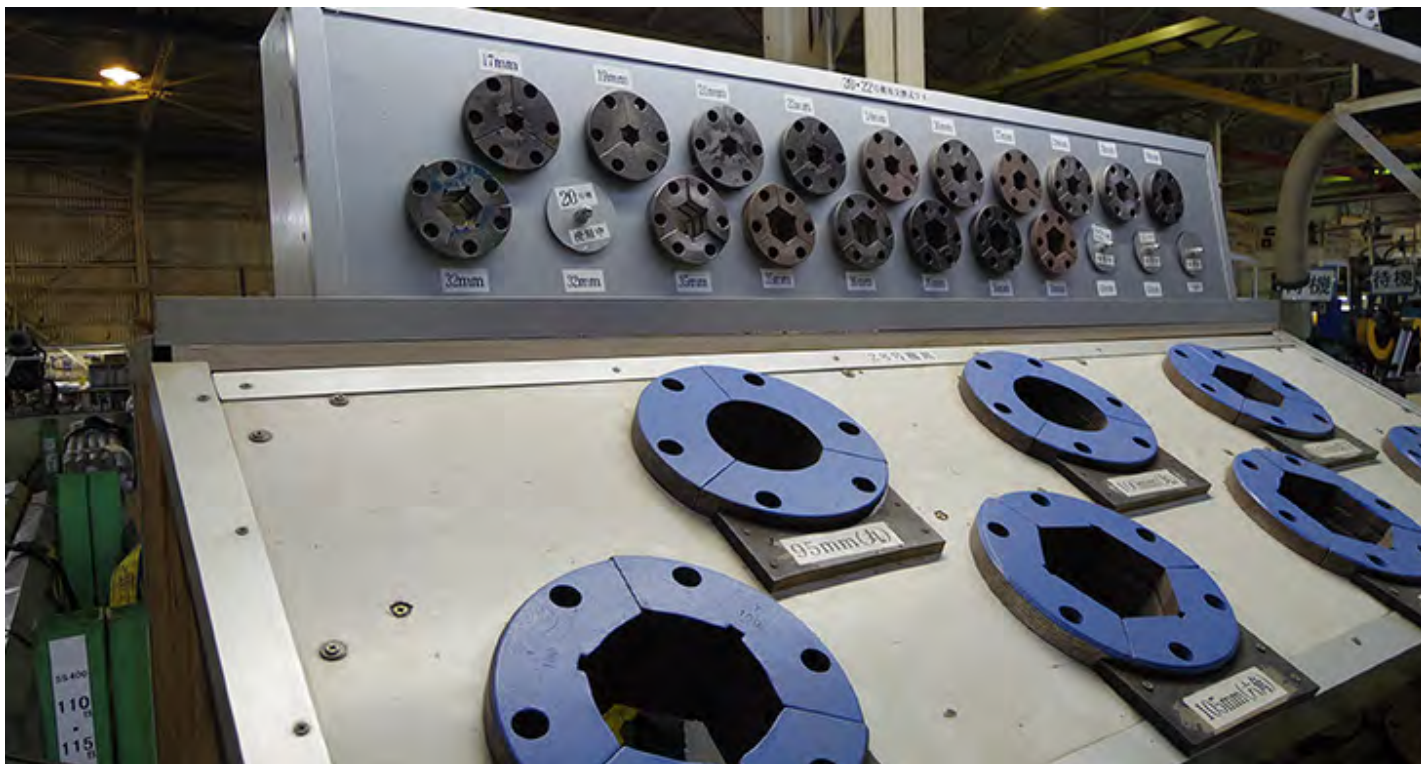


工場・施設見学

鋼材の切断からねじ切りまで
一貫生産している工場の見学

- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:20名まで
- 所要時間:60~90分

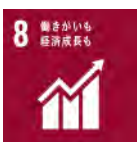
所在地◆〒578-0984 東大阪市菱江6-4-28
HPアドレス◆<http://www.fujiseisakusho.com>
アクセス◆近鉄けいはんな線「荒本駅」・近鉄奈良線「若江岩田駅」



徹底した5S活動

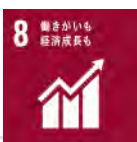


わが社の5S活動は、「守ることを決めて、決めたことを守る」をテーマにスタートした、多くの学校や企業に視察にお越しいただいている。全ての工具の位置が徹底的に決め、在庫が少なくなった時の発注のルールも整理棚を見ると誰でもすぐわかるようになっている。「誰でもすぐに」というのがポイントで、この制度の導入で、格段に業務効率が変わった。今では社員が自発的に、全てを進めてくれている。



実務にあった認証の取得

エコアクションや東大版ブランド、ISO9001等、様々な認証も取得。その認証取得の際に、わが社は、現場に負担を増やさないために、認証のためのコンサルタント等は入れず、自社で申請することにしてている。実務に合った形での目標設定と申請を行い、その範囲で審査してもらう。そうすることで、現場に大きな負担を増やすことなく認証が取れる。



社員の誕生日にはケーキをプレゼント

社員とのコミュニケーションも大事にしている。恒例になっているのが、誕生日ケーキ。毎年、社員の誕生日にはプレゼントする。会社が社員を大切に思っている気持ちを、社員の家族にも理解してもらい、親近感を持っていただければと考えている。

マツダ紙工業株式会社

販売紙製品全般を製造・販売している会社です。こちらの会社では外箱も中箱も製造している。「創業者の現会長から受け継いだ『お客さんが困っていることを解決する』という精神をもって、今後も提案力のあるモノづくりにこだわっていきたい」と松田社長の言葉通り、東日本大震災復興のためにダンボール製間仕切りや女性用の更衣室、整理タンス、幼児用デスクセットなどを寄贈している。2011年12月に「東大阪市長賞」・「東大阪商工会議所賞」・「日刊工業新聞社賞」を受賞されており、2012年1月には「大阪府ものづくり優良企業賞2011 匠」・平成24年度(第一回)東大阪CSR経営表彰・2013年経済産業省「がんばる中小企業300社」も受賞されている。



講演

モノづくりによる支援活動・社会貢献について

- 受入可能時間:要相談(出張可)
- 受入可能人数:要相談
- 所要時間:40~50分
- プログラム料金:有料

体験

ダンボール製品の組み立て体験

- プログラム料金:有料
- ※見学プログラムに含む

工場・施設見学

ダンボール製造行程の見学とビデオ見学

- 受入可能時間:火~金曜日 13:00~16:00
- 受入可能人員:~15名
- 所要時間:60分~90分(体験プログラム含む)
- ※ビデオ見学は15分~20分

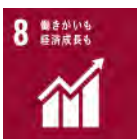
所在地◆〒577-0827 東大阪市衣摺5-14-24
HPアドレス◆<http://www.matsuda-siko.co>
アクセス◆JRおおさか東線「長瀬駅」

わが社のSDGs



世の中の役に立つことが会社のためにもなる

東日本大震災でマツダ紙工業として、ボランティアに参加。その時の経験は、社員にはもちろん、代表にも経営方針に大きな影響を与えてくれた。段ボール業界は1円・2円の価格競争が渦巻く厳しい世界。そんな厳しさの中でも社会のためになることをすれば、自然と注目していただける機会を得ることができる感じた。以降、防災グッズなど開発にも取り組んでいる。



子ども向けイベントで知る社員の魅力

定期的にショッピングモール等で子ども向け迷路イベントやワークショップを開催。運営を社長と社員で行う中で、社員の得意・不得意が見え、今ではイベント専任で取り組んでくれる社員も。得意分野を活かすことができる環境づくりを意識している。



見ていただくことで会社も刺激を

先述の東日本大震災の支援から、身近な地域への還元ができていなかったことにも気付くことができた。それをきっかけに始めたモノづくり観光や近畿大学へのスツールの提供。見学に来ていただくことで、わが社としても刺激をいただいております。今後も地域との関わりも積極的に行っていきたい。



株式会社松よし人形

頭師、小道具係など分業で作られるお雛様。松よし人形は人形着付師としてこれらの各職をまとめるプロデューサーの役割を果たしています。小出社長は人形着付師として“二世松寿”を名乗られ多くのコンクールで入賞された達人です。現在、人形工房松寿の主宰として人形制作に情熱を傾けておられます。



講演

「これで良いのか」

「心・愛・夢・技」のテーマのもと、今後とも可能性の広がりを目指し、人形づくりに情熱を傾ける小出氏。雛人形といえば京都という一般常識を覆し、東大阪のモノづくりのDNAを受け継ぐ人形師がいるということを伝えたいと語る氏の講演は、伝統とは？ それを守るには？ という今の日本が抱える課題のヒントが伺える。

工場・施設見学

人形製作の工程を見学

- 受入可能時間：月～金曜日13:00～15:00
- 受入可能人数：20名程度
- 所要時間：45～60分
- 特記事項：製作場である3階へは階段利用

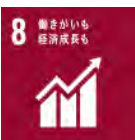
所在地◆〒577-0843 東大阪市荒川1-10-4
HPアドレス◆<http://www.matsuyoshi-doll.co.jp>
アクセス◆近鉄奈良線「布施駅」・JRおおさか東線「俊徳道駅」





「祝いの席を楽しむ」という文化継承も一助に

おひなさまや五月人形は「祝いの席を楽しむ」という想いが形になっているもの。近年おひなさまを持つ家は少なくなっているものの、そういう想いは変わらず続いていく。その文化継承の一助になればという想いで取り組んでいる。



生産者の情報がわかる仕組み

先代社長の「野菜は、生産者の顔が出ていることが多いのに、他の製造業はなぜ出ないのか」という疑問から、わが社では、出来上がったおひなさまにはQRコードを付け、必ず製造に携わってもらった職人の顔がわかる情報を掲載。

このことから従業員を大切にしたい想い強く、それが伝わっているのか、ありがたいことに従業員の定着率は高い。女性の従業員も多い職場。



ワークショップの定期開催

「和物」に触れる機会が圧倒的に少ない現代で、若い方でも興味を持っていただけるように、普段使いができるイヤリング等のアクセサリ製作にも挑戦。そのアクセサリは、デザイナーの平林景さんとの繋がりで、パリコレにまで登場させていただくことができた。

定期的なつまみ細工のワークショップの開催など、和物が身近になるためのイベントにも取り組んでいる。

山本化学工業株式会社

記録更新を狙うアスリートスイマー用水着を製造する会社。日本水泳連盟推薦商品に認められており、世界大会に出場する選手のフォーム改善練習用として採用されている。また、放射線遮蔽服を開発、様々な災害現場や復興現場で使われている。2012年には、医療機器メーカーとしての認証を受け、新たなステップを踏み出した。顧客の満足で終わることなく、歓喜を目指したモノづくりを目指し続ける企業。



講演

高い志を持った発想と執念

世の中になかったモノづくりで世界で勝ち抜く
～高速水着素材から医療機器まで～

工場・施設見学

原料からの製造行程をへて スライス行程まで見学

鉱石が原料のゴムの練り～加熱、スライス行程
までの説明、見学。
見学時間 約60分

所在地◆〒544-0005 大阪市生野区中川5-13-11
HPアドレス◆<http://www.yamamoto-bio.com>
アクセス◆近鉄奈良線 「今里駅」 徒歩20分



脱オイル 天然由来の石と花から作るウェットスーツ

科学者でもあった創業者の山本敬一が開発した石灰石から作るウェットスーツ。環境問題など、誰も気にしていなかった1970年代に天然由来にこだわって開発。環境を意識する方々に受け入れられている。



いつか一緒に働く子が出てくれたら

モノづくり観光はじめ、見学を受け入れてさせていただいていると、生徒さんから気づかされることも多くある。社員にとっても、仕事に対するやりがいや、程よい緊張感が得られ、良い影響となっている。将来、就職の時に山本化学工業を思い出していただき、一緒に働くことができたらいいなと感じている。



誰でもわかる工夫

素材の輸出先には海外も多く、海外では、数字が読めない方がいらっしゃることもある。そんな方々でも簡単にわかるように、素材の薄さを示すタグには、数字だけでなく色分けを加えることで判別しやすくしている。次の工程での配慮を忘れないようにしている。



その他の活動は公式HPで紹介しております。

<https://yamamoto-bio.com/sdgs.html>

ラピス株式会社

歯ブラシの生産日本一の八尾から世界へ”
オーラルケアのスタンダード製品”の地位を
確立。

八尾の自社工場で、歯ブラシの製造やオンデ
マンド印刷、等で独自の技術を駆使し、高品質
の商品を開発・製造しています。その工場を見
学、そして歯ブラシにまつわるお話を通じ、歯
や口腔の健康の大切さを体感できます。



 **LAPIS:**



講演

オーラルケア(口腔衛生)や 歯ブラシにまつわるお話

- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:要相談
- 所要時間:60分

工場・施設見学

原料からの製造行程をへて スライス行程まで見学

- 受入可能時間:月～金曜日 10:00～16:00
- 受入可能人数:～20名
- 所要時間:60～90分

所在地◆〒581-0835 八尾市小畑町2-33-13
HPアドレス◆<http://www.lapis21.com>
アクセス◆近鉄大阪線「近鉄八尾駅」



14

海の豊かさを
守ろう



新素材を使った商品開発

「Rice Resin®」というお米由来の国産バイオマスプラスチックが開発されたことから、その素材を使用した歯ブラシを開発。今後は全商品に使用していく予定。その他にも個包装のとりやめなど、脱プラスチックに取り組んでいる。

8

働きがいも
経済成長も



SMETA監査をも通過する 世界基準の労働環境

Amazonとの取引の中で、SMETA監査を受けることが必要になり受けた。無事、通貨することができ、世界基準の安心な労働環境を提供できている自信になった。

4

質の高い教育を
みんなに



5

ジェンダー平等を
実現しよう



従業員の9割が女性

元々女性が多い職場ではあったが、現在は9割が女性。子どもの体調や学校行事を優先して良い社風で、従業員同士が、協力しあいながら、業務を遂行してくれている。年1回は家族も招いたバーベキューパーティーを開催するなど、コミュニケーション円滑化にも取り組んでいる。

※SMETAとは:Sedex Members Ethical Trade Auditの略でSedex (Supplier Ethical Data Exchange) が基準のオーナーとなっている世界で最も広く使われている社会監査基準の一つ。
①労働基準、②安全衛生(H&S)、③環境、④企業倫理の領域をカバーしており、責任ある事業慣行のあらゆる側面を網羅した監査が実施できるように設計されている。



ワシヨウ金属工芸

日本の物作りの原点でもあり、伝統工芸でもあるヘラ絞り(手絞り)加工一筋54年目の会社です。

主に『航空部品』・『医療機器』・『照明』・『業務用ファン』・『業務用大型掃除機』等をすべて手絞りにて加工しております。過去にも、どこもお手上げだった商品・無理難題をクリアしてきた実績があり、その実績をかわれ、NHK『凄ワザ』の取材もされました。既存商品の精度をあげたい・新規の案件があるが加工が難しい等、小ロット・試作から大量生産まで対応しております。



工場・施設見学

ヘラ絞り行程の見学

■事業案内→加工見学→体験

ヘラ絞りの説明・ヘラ絞りで製造した製品見学及び技術説明

《ヘラ絞りとは・・・》

ヘラ絞りとは、1枚の平面上の板や円筒状の金属板を回転させ金型に沿って『ヘラ』と言われる棒を押し当てて徐々に変形させる塑性加工(そせいこう)の技法です。職人の熟練度によっては他の加工方法より高い精度を実現する事が可能。また、プレス加工では不可能な形状が製作可能であり、金型も比較的安価な為試作等にも使用しやすいです。

体験

■ヘラ絞り体験

所在地◆東大阪市大蓮南5丁目6-26
HPアドレス◆<http://www.washometal.jp>
アクセス◆近鉄 弥刀駅・JR加美駅 20分



9



ヘラ絞りの技術を知ってもらいたい

わが社の技術で、現時点で世の中にある金属で絞れないものはない。それほど世界に誇れる技術だと自負している。後工程を考えた処理を心掛け、「どうやったらできるか」を関係者と一緒に考えながら取り組む姿勢に、評価をいただいている。今後もこの技術を知ってもらい、残していきたい。

4



質の高い教育を
みんなに

11



若い方にもモノづくりの楽しさを

後継者不足問題に直面している製造業。少しでも若い方にモノづくりの楽しさを知ってもらえたらとモノづくり観光にも取り組んでいる。地域の小中学校から見学も受け入れている。

8



働きがいも
経済成長も

家族だからこそメリハリを

わが社は、家族経営。そのため、過去にはどうしても家族としての甘えが出てしまう部分があった。しかし、それは会社のためにならないと感じ、就業時間中はあくまで「社長と従業員」という関係で接していく方針に変更。今ではその関係を意識することなく維持でき、このメリハリがわが社の技術を支えになっている。

3



すべての人に
健康と福祉を

12



環境に配慮した事業推進

アルミ等の軽い素材は粉じんが出やすい有害な素材で作業する際には、必ずマスクを着用。潤滑油など業務上で出るオイルは業者に回収、電気は節約。と、従業員の健康と環境に配慮した事業推進を心掛けている。

サンライズ鉄工株式会社

強み・特色】

製缶、フォークリフト、フラッシュバットの3部門で、自動車生産ライン等の基礎構造体を製造している。自動化が多い業界の中で、工程の大半は人が介し、スピーディーさと提案能力を備えた技術は国内に例を見ない。

【製品等を見たり、感じられる場所】

日常で一般の人は見ることはまれであるが、自動車製造工場の生産ラインの基礎部分を製作しているところ。

【モノづくり観光への想い】

モノづくりにかける情熱は、世の中や人に対する熱い想いに通じるもので、モノづくりの心意気を広く紹介するという協会の目的に賛同し可能な限り協力したい。

【東大阪への想い】

協会の活動を通じ、モノづくりの町東大阪が国内外で広く、正しく認識されることを期待する。

【HP閲覧者へのメッセージ】

「世のため、人のためと思って働けば、いつの間にか自分のためになっていることに気づく」という姿勢で、ベテラン～新人まで社内でも互いに技術を高めるべく、切磋琢磨しております。



工場・施設見学

防御用作業着、マスクを 着用した溶接体験

製缶部門、フォークリフト部門、フラッシュバット部門の3部門が並列に配置されており、チームワークを重視している。

まず、製缶部門ではベルトコンベアのフレーム、台車用フレーム、昇降機用フレーム、大型ダクト等の生産ライン、フォークリフト部門では、リフトにつけるアタッチメントを製造、なじみのある部品では、建機用バケット、ハンドリフト用ステンレスフォーク等の製造風景、自動車用の補修部品を製造しているフラッシュバット部門では、国内では希少性、専門性が高く、溶接から全数検査迄全て技術者の手で行われている。

所在地◆〒578-0901 東大阪市加納4-11-4
HPアドレス◆<http://sunrise3.com/>
アクセス◆JR住道駅より 徒歩25分(約2.0km)
近鉄吉田駅より 徒歩20分(約1.6km)

わが社のSDGs



わが社のSDGs

13 気候変動に
具体的な対策を



屋の建て替え時にソーラーパネルを設置

岡林社長として、以前から取り組みたかったソーラーパネルの設置を、社屋建て替えのタイミングで実行。事務所の入り口には、現在の発電状況を示すモニターが設置されています。お客様との話題の種にもなっているそうです。

11 住み続けられる
まちづくりを



若い方にもモノづくりの楽しさを

会社の外にはプランターで季節の花を植えておられます。少しでも道を歩く人にキレイだと思っていただければと思って取り組んでおられるそうです。工場地帯はの中に位置するサンライズ鉄工さん。街なかに彩りを与えていただいています。

8 働きがいも
経済成長も

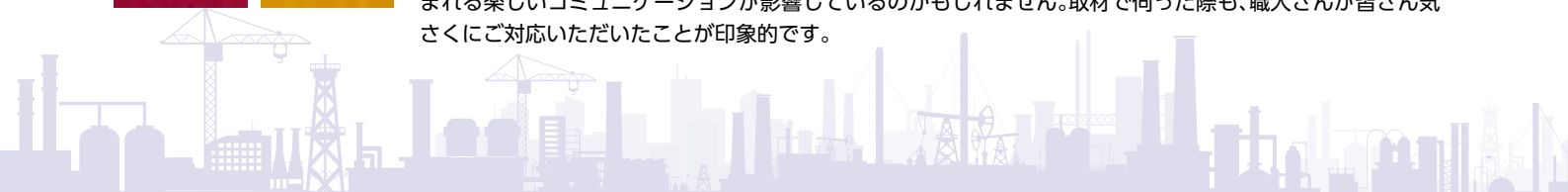


12 つくる責任
つかう責任



社員とのイベントが盛りだくさん！

釣り大会、ゴルフ同好会、社員旅行、お盆と年末の焼肉会、5月・11月にはハイキング会など、交流の場がとても多い会社です。「人間的なレベルが高い それが会社の誇り」と岡林社長。それは、このようなイベントから生まれる楽しいコミュニケーションが影響しているのかもしれない。取材で伺った際も、職人さんが皆さん気さくにご対応いただいたことが印象的です。



シーホネンス株式会社

医療用・介護用ベッドメーカーとして、55年の歴史を誇る老舗。創業以来半世紀を迎えたことを機に、「第二の創業」と位置づけ、「お客様の視点に立った、高付加価値のサービスの提供」をこころがけ、先行開発型企业、トータル・ケアライフ・アドバイザー、グローバル企業を目指し発展中。社名は、Seahorse + honest、すなわち健康と幸せのシンボルSeahorse (タツノオトシゴ) に願いを込めて、社員一同が honest (誠実) にお客様の離床のお手伝いをするという思いが込められている。



工場・施設見学

工場見学及びショールーム見学

- 受入可能時間:月～金曜日 10:00～16:00
- 受入可能人数:10名程度
- 所要時間:60～90分

所在地◆〒577-0067 東大阪市高井田西5-1-30
HPアドレス◆<http://www.seahonence.co.jp/>
アクセス◆大阪市営地下鉄「深江橋駅」





3 すべての人に健康と福祉を



医療・介護用ベッドから全ての人に健康と福祉を

お客様により良い品質と安心をお届けするために純国産にこだわったモノづくりに取り組んでいる。部品の製造から組み立てまで、生産一貫体制を取り、あらゆるニーズへの対応を心掛けている。

8 働きがいも経済成長も



複数の福利厚生制度や実績に応じた評価で働きがいを

2020年頃から復活導入した「教育応援手当」や新たに導入した「資格手当」で従業員の向上心を高めてもらう取り組みにも挑戦している。2022年度からは休暇の日数も増加させ、ライフワークバランスも考えて組織づくりも。また、評価制度は以前から実績に応じて給与に反映される状態しており、働きがいも得られている。

3 すべての人に健康と福祉を



12 つくる責任 つかう責任



製造工程に粉体塗装で従業員の健康も

部品の製造から組み立てまでを行うわが社では、塗装の工程で粉末を圧着させる「粉体塗装」という技法を採用。塗装というと、シンナーの臭いが充満しているイメージがあるが、粉体塗装ではそのようなことがなく、従業員の健康も配慮

11 住み続けられるまちづくりを



見学ルートも考慮した新工場が竣工

2023年4月には、東大阪の高井田に新たな工場が竣工予定。これまでよりも地域の方や学生の見学を受入やすいよう、見学ルートも考慮した作りとなっている。

フセハツ工業株式会社

【バネの製造・販売、二次加工をワンストップ提案】

1950年の創業以来、「バネの総合メーカー」として各種スプリング製品の製造・販売を手掛けるフセハツ工業。自動車のクラッチに組み込まれる「ワイヤーリング」で日本トップクラスのシェアを誇るほか、さまざまな産業分野で使われるスプリング、例えば美容室のスタイリングチェアやハンドグリップなどのスポーツ用品、洗濯ばさみ用のピンチリングまで、多種多様なバネを生み出しています。見た目は小さなバネですが、それぞれが担う役割は非常に大きく、特に自動車や医療、環境分野におけるバネは欠くことのできない重要部品として高い品質と精度が求められます。

現在約800社に製品を供給するフセハツ工業は今後もmade in Japanの品質を守るとともに、航空など新たな分野での事業拡大も推進中。

その一方で、SNSやHPを通じた個人ユーザーからのニーズにも応え、バネ1個の設計・試作にも細やかに対応する企業姿勢を大切にしています。



工場・施設見学

人の技×最新設備が生み出す 多彩なバネは圧巻

社長自らマイクを握る会社説明に耳を傾け、バネがどんなところで、どう使われているかの動画を視聴した後、10名程度の班に分かれて工場見学へ。

代表的な設備を実際に動かしながら押しバネや引きバネなど数種類のバネの成形、ワイヤーリングの巻取りなどの製造工程を見ていただきます。

その後、バネが正しく接続されているかどうかをチェックする検査業務などを体験する時間をご用意。

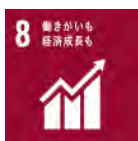
最後には、お土産としてオリジナルクリアファイルやボールペン、バネのキーホルダー等をプレゼントいたします(プレゼント内容は変更する場合がございます。ご了承ください)。

所在地◆〒577-0046 東大阪市西堤本通西1丁目3-43

HPアドレス◆<https://www.fusehatsu.co.jp/>

アクセス◆近鉄奈良線河内小阪駅より徒歩13分

JRおおさか東線高井田中央駅より徒歩20分 地下鉄中央線高井田駅



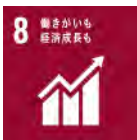
採用・雇用や、環境問題など、各種認証を取得

環境問題に対する認証の「エコアクション21」、男女が働きやすい会社を目指す「男女いきいき・元気宣言」、若者の積極採用を目指す「ユースエール」、障がい者雇用に取り組む「障がい者サポートカンパニー」、従業員の健康への配慮を示す「健康経営方針」や「心の健康づくり計画書」など取得。企業内の改革に取り組んだ結果、これらの評価をいただけていることは経営者としても自信になるし、従業員にこの取り組みを理解してもらっていると嬉しい。



モノづくり観光をこーばへ行こう！を通してモノづくりの世界を知ってもらいたい

昔は、町工場のシャッターが開いた状態で作業されていた工場がお送り、通学路の途中でもよく作業風景を目にすることができたが、現在は、様々な事情からそのような光景をみることはできない。だからこそ、モノづくり企業は見学をしていただき、モノづくりの世界を知ってもらいたい。そんな想いで、モノづくり観光やこーばへ行こう！に参画させていただいている。色画用紙を使ってパネを作るなど、楽しくパネの仕組みを理解してもらえらる取り組みに挑戦している。



従業員とのコミュニケーションも積極的に

コロナ前までは、新年会や忘年会、社員旅行等も開催しながら、従業員同士のコミュニケーションが図りやすいようになってきた。また社長とも半年に1回程度のペースで1対1面談で、従業員の話聞かせてもらう機会も設定している。

大阪糖菓株式会社

昔懐かしいコンペイトウは、本来南蛮渡来の貴重なお菓子でした。現在作っている会社は全国的にみても10軒に満たない。ルイス・フロイスにより伝えられたというコンペイトウの手作り体験以外に、製造工程や歴史が学べ、平日は工場も見学することができる。



体験

コンペイトウ手作り

- 受入可能時間:10:00~/14:00~
- 受入可能人数:75名
- 所要時間:●こんぺいとう工房:90分
 - カルメラ工房:70分
 - シュガー・アート教室:80分
- 詳細:コンペイトウの手作り体験のほか、製造工程の見学やコンペイトウの歴史紹介など
- 特記事項:出張も可。上記料金に別途出張費が加算されます。

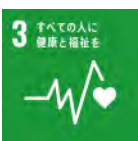
講演

「フラット野村が語るコンペイトウ王国」

お菓子作りを文化として広めるべく、2003年に堺と八尾に「コンペイトウミュージアム」を開設。2012年春には福岡にも進出しました。自らコンペイトウ博士や南蛮文化の伝道師「フロイス野村」コンペイトウ王国の王様「フラット野村」として活躍し、テレビや新聞のニュースなどでも話題となる同氏のかつエネルギッシュな活動を通じて、元気をもらう講演。還暦を越えておられるが、まだまだ人生を謳歌されている野村氏の不思議な魅力をに触れることができる。

所在地◆〒581-0038 八尾市若林町2-88
HPアドレス◆<http://www.konpeitou.jp/>
アクセス◆大阪市営地下鉄「八尾南駅」





3 すべての人に健康と福祉を



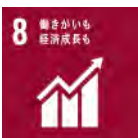
5 ジェンダー平等を
実現しよう



12 つくる責任
つかう責任

2019年頃から意識をし始めた健康経営とSDGs

中小企業としては比較的早い段階で、健康経営とSDGsに取り組み始めたと思う。SDGsは「持続可能な」ということから、従業員が疲弊せずに続けられることを意識しながら、昔ながらのやり方や、従業員の配置換えを行う等で、改革に取り組んできた。それらは、離職率が下がり、若返り化が進む結果に。パートさんの社員登用も行いながら、拠点によっては、女性の方が多い拠点も。



8 働きがいも
経済成長も

楽しみながら学び、学びながら楽しむ社員旅行

4年に1回、全国のどこかの場所で「全国菓子大博覧会(通称菓子博)」が開催される。その時には、同時に社員旅行を開催場所に組み訪問。楽しみながら学べる環境を提供している。



4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを

モノづくり観光やコンペイトウ作り体験を通じて大阪全体を元気に

わが社は八尾の会社ではあるが、場所に関係なく、モノづくり企業が連携をしながら大阪全体を元気にしていきたいという想いで参画。職人のモチベーションアップにもつながっている。



12 つくる責任
つかう責任

コンペイトウは実は食品ロスになりにくい

コンペイトウは賞味期限が1年と長く、食品ロスになりにくい商品。それが評価されてか、近年は、海外からの依頼も増えている

豆玩舎ZUNZO(宮本順三記念館)

ものづくりの町東大阪から離れることなく、グリコのおまけを生涯に亘って担当した故宮本順三さん。小さいことはいいことだ！とその時代時代の子供に夢を与え続けた。おまけは単なるおまけではない。おまけは夢の入り口や！今、娘さんとお孫さん、そしてその応援団長オルファーカッターの考案者岡田三朗さんのアイデアおもちゃ作りが人気。「子供たちに作ることの大切さを伝えていきたいと思います。」はZUNZOさんの言葉。



体験

アイデアおもちゃ作り

- 受入可能時間:10:00~17:00(博物館開館日)
- 受入可能人数:10~60名
- 所要時間:60~90分
- 特記事項:●館内見学(スタッフの説明)
 - 海外の伝承おもちゃ体験
 - ズンゾ&サブローのアイデアおもちゃ制作

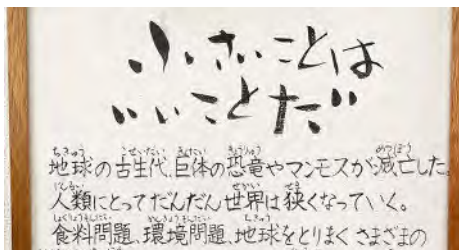
<施設情報>

開館日:土・日曜日(火~木曜日は予約制)
開館時間:10:00~17:00
休館日:月・金曜日(グループ・団体見学は要相談)
入場料:こども200円、高大生300円、大人500円
20名以上から団体割引あり(要予約)

所在地◆〒577-0803 東大阪市下小阪5-1-21山三エイトビル3F
HPアドレス◆<http://www.omakeya-zunzo.com>
アクセス◆近鉄奈良線「八戸ノ里駅」



わが社のSDGs



小さいことはいいことだ

「…さまざまな問題解決方法として、グローバルに人類こぞって小さくなることを提案する。全人類の豆つぶ化に成功したら、ちりめんじゃこのお頭でお祝い、グリコのおまけの飛行機で飛び回る。そうなったら地球の資源は無限となり耕地も宅地もありまらさう」

宮本順三は地球の問題について、こう言っていた。この言葉から、グリコのおまけ、ミニチュアの世界にはSDGsの考え方も多く含まれていると感じる。



昔遊び、郷土玩具工作教室を通じてモノづくりを知るきっかけの提供

昔に比べ、自分で何かモノを作るという機会が減ってしまった現在だからこそ、モノづくりの面白さを楽しく知って欲しい。そんな想いで郷土玩具工作教室を運営。昔遊びや郷土玩具には、様々なモノづくりの基本が詰まっている。それを作る過程でカッターナイフの使い方や鋳型という技法など、様々なモノづくりを学んでもらっている。



廃材を活用した玩具作り

茶筌製造過程で出る廃材(竹)を製造業者から譲り受け、それを活用した玩具作りも行っている。



「サブローごま」を通した様々な交流

NPO法人おまけ文化の会理事の岡田三朗さんによって創作された、誰でも簡単に回すことのできるこま「サブローごま」。そのデザインコンテスト開催。2023年で14回目を迎える。近年は300を超える応募をいただき、中には、ポストンチルドレンミュージアムや、福祉作業所からの応募も。玩具が繋いでくれる縁に可能性を感じている。

株式会社シーズクリエイト

商業印刷を中心とし、折込チラシ・DM・カタログ・パンフレット・フリーペーパーなど企画制作から印刷まで一貫して行っている企業。環境負荷を低減させた事業活動および環境に配慮したものづくりを推進している。

「社会が豊かになることによって私たちも豊かになれる」という社員の思いのもと、印刷事業と一体のものとしてCSR(社会貢献)活動を推し進め、これからの社会の「持続可能な未来を創る」ことに取り組んでいる。



工場・施設見学

「印刷物が作られていく工程見学」

- 受入可能時間:10:00~16:00
 - 受入可能人数:20名
 - 所要時間:60分~
- ※体験プログラムを含む

体験

「印刷の仕組みを知る」

実際の印刷物をルーペで見ながら、一つの写真や文字がどのように印刷されているか、その裏側を体験。

※見学プログラムを含む

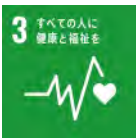
所在地◆所在地・581-0034 大阪府八尾市弓削町南1-18
HPアドレス◆<http://www.seeds-c.co.jp>
アクセス◆JR大和路線「志紀駅」





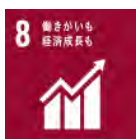
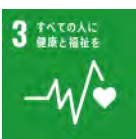
印刷会社としてできる社会への貢献

インターネットが主流の時代になったが、紙媒体だからこそ表現できるものも多くある。紙媒体を通じた情報発信が社会課題の解決に繋がればという想いで印刷業に取り組んでいる。印刷には、FSC®森林認証の紙を使用し、作業工程で余った紙は、八尾市内の保育所へ提供している。そのほか、グリーンプリンティング認定※も取得。



畑と食卓をつなぐ情報誌『どっこいしょ』の発行

これまで、CSR活動の一環として、奈良のバイリンガル情報誌「naranara (ならなら)」や八尾市のモノづくりにスポットを当てた情報誌「YAOLA (やおら)」に携わった経験から、2023年2月、地産地消を基本にした情報を届けるための情報誌『どっこいしょ』を創刊。



社内にトレーニングルームや休憩室を完備！

心も身体も豊かになれる。それが人間らしい生き方。従業員にも健康でいてもらえるように社内には、トレーニングルームを用意。いつでも自由に使って良い状態にしている。

※グリーンプリンティング認定制度とは

2006年にできた印刷業界のより高いレベルでの環境保全活動を推進するため、印刷工場と印刷製品の総合的な環境配慮をすすめるための制度。一般社団法人日本印刷産業連合会によって認定される。

ホテルセイリュウ

ホテルセイリュウは大阪と奈良の県境、自然にあふれた生駒山麓の大阪側に位置し、日本建築会の鬼才、故 黒川紀章氏が設計を担当。大阪中心部から車・電車で約25分、京都市中心部から車、電車で約55分という最高のロケーション。客室からは大阪市内が一望できる。地上およそ70階に相当する高さにある大浴場は眼下に広がる美しい夜景が楽しめる天然ラジウム温泉で、心身ともにリラックスできる。



体験

大阪名物 たこ焼き体験

- 受入可能時間: 夕食時
- 受入可能人数: 10~320名
- 所要時間: 30~50分
- 特記事項: 夕食時に合わせて行なっていただきます。

所在地◆〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12

HPアドレス◆<http://www.hotelseiryu.com>

アクセス◆近鉄奈良線「石切駅」・近鉄けいはん奈線「新石切駅」





ホテルセイリュウのSDGsの取り組みについては、以下のリンクで取り組みの詳細をまとめている。
<http://www.hotelseiryu.com/info/sdgs.html>
ここでは、その中の一部をご紹介します。

環境への取り組み

10年ほど前から、館内設備のLED化を図っており、取り換えのタイミングで順次LEDへの対応を行っている。また、眠った備品在庫の整理でこれまで発注し過ぎていたもの等の見えるかを図り備品・食品ロスの削減に取り組んでいる。

健康と安全への取り組み

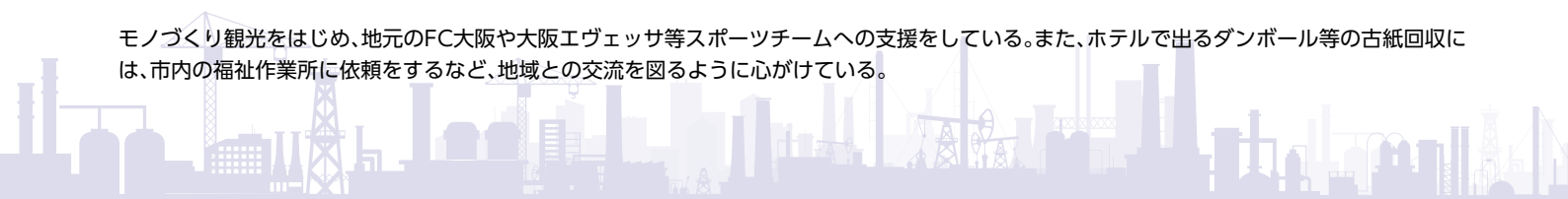
館内の分煙化や、スタッフの体調管理の徹底、設備の点検でお客様への安全はもちろん、労働環境の改善でスタッフが心身ともに健康でいられるように努めている。

働きやすい職場づくりへの取り組み

スタッフの入れ替わりが少ないというのは、わが社の特徴。地元密着で、近隣の方に長く働いていただいている。2022年からは、休暇の日数や時給のアップに取り組み、よりよい職場環境の整備に努めている。その他、ホスピタリティ研修もかねた社員旅行や、意見・提案箱の設置等、スタッフ同士のコミュニケーションを促進できるイベントも実施。

社会貢献への取り組み

モノづくり観光をはじめ、地元のFC大阪や大阪エヴェッサ等スポーツチームへの支援をしている。また、ホテルで出るダンボール等の古紙回収には、市内の福祉作業所に依頼をするなど、地域との交流を図るように心がけている。



株式会社関西オカムラ

オフィス家具大手、株式会社オカムラのオフィスデスクの生産拠点。

目指すは、「デスクNO1ものづくり」！

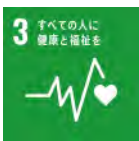
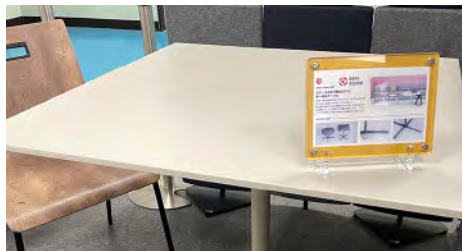
近年では利用者の健康も考えた、立ち姿勢にも対応できる機の製造をはじめ、「良い商品は結局おトクです」をモットーに、オカムラの一員として「人が活きる」社会の実現に向けて全力で取り組んでいる。

ものづくりの力の向上のステップに取り組む「改善力」、高度でフレキシブルな「技術力」、強力な組織体制で時代をリードする「開発力」という3つの力に重きを置きながら価値ある製品の創造する関西オカムラは、素材から一貫した生産を担われているため、商品（デスク）が出来上がっていく過程を学びながら見学いただくことができる。



所在地◆〒577-0002 大阪府東大阪市稲田上町2-8-63
HPアドレス◆<http://kansai.okamura.co.jp/>





3 すべての人に健康と福祉を



13 気候変動に具体的な対策を

健康やエコを意識した新商品開発

近年、長時間の座位は身体に悪影響を及ぼすということが言われていることから、立位でも作業ができるような高さの調節ができる机を開発。その他、樹脂を使わず、スチールのみで作った「nel(ネル)」は環境に配慮した商品として、グッドデザイン賞も受賞。



4 質の高い教育をみんなに



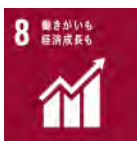
12 つくる責任つかう責任

木とスチールの違いを体感で長持ちするモノづくりを学ぶ

モノづくり観光などの見学会では、学生の方に、一見すると同じ机だが、天板が木とスチールの2種類の机を見て、天板の固さを体感してもらう。木はたわみが出てしまうが、スチールはそれがない。長持ちするモノづくりとはどういうものかをお伝えしている。



3 すべての人に健康と福祉を

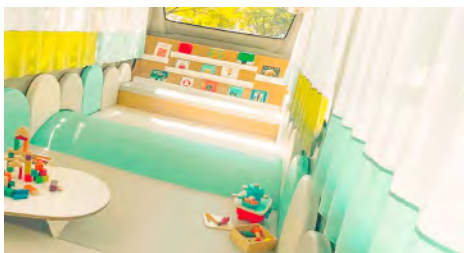


8 働きがいも経済成長も

重労働はロボットに 人にしかできないことを人に

わが社の工場は24時間365日稼働。だからこそ、人とロボットと一緒に活躍する環境を構築。特に、わが社の商品は、机や椅子、ラックなど、とても重いものも多く、その運搬は部品1つを取っても重労働。運搬や、製造工程における向きの入れ替えなどは、全てロボットによる自動化を図り、細かな組み立てなど人にしかできないことを従業員が行うという切り分けをしている。





9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



地元密着へのこだわり

わが社は、「地元密着」ということを大事にしなが、東大阪の中部～東部エリアを中心に通院、お買い物など、住民の方々の日常に入り込む形で運行させていただいている。これは創業者の想いであり、昭和29年の創業時から変わらない。交通を提供することで、地域活性化の一助になればという想いで取り組んでいる。

8 働きがいも経済成長も



従業員同士、仲が良いのもわが社の特徴

他のタクシー会社ではあまりないと聞くドライバー同士の交流が多いのもわが社の特徴。会社としてドライバーデビューまでの研修制度はもちろん整備しているが、実際に運行する中で先輩ドライバーから教わる事が多くあるため、ドライバー同士の交流を大切にしている。コロナ前は餅つきやバーベキューなど、イベントごとも多くしており、落ち着いたら復活させたい。

11 住み続けられるまちづくりを



移動型託児バス「CAM+BUS(キャンバス)」運行の開始

2022年に新規事業として日本エアサービス株式会社・株式会社リパースと連携し、移動型託児バス「CAM+BUS(キャンバス)」の運行を開始。働くパパママ世代を応援する。イベント会場等でのニーズに応えながら、今後の可能性に期待したい。



わが社のSDGs



わが社では、2022年度に経理理念の「ナイスワーク・ナイスコミュニケーション」と6つ行動規範から、関連する取り組みをまとめた「サステナビリティレポート2022年度」を作成。ここでは、その6つの切り口について紹介する。詳細の取り組みについては、以下リンクを参照ください。

<https://www.okumuradbk.co.jp/assets/img/sustainability/pdf/sdgs2022.pdf>

ナイスアースワーク 「地域と社会」

地球環境時代にふさわしい企業になるために、環境を大切に、社会に還元する取り組み

ナイスアーバンワーク 「都市と文化」

環境負荷の少ない施工を通して、渋滞の緩和等、人々が快適に過ごせる環境づくりの取り組み

ナイスライフワーク 「生きがいと働きがい」

安心・安全と、活力ある職場づくりを通して、従業員に心の豊かさを提供する取り組み

ナイスハートワーク 「ココロと仕事」

モノづくり観光などの見学会や多様性への対応を通してオクムラらしい明るい社風づくりの取り組み

ナイスフットワーク 「流通と行動」

災害時復興支援や高速道路の開通等を通して、お客様の真のニーズを把握し満足をご提供するための取組み

ナイスネットワーク 「技術と情報」

新技術の開発や情報収集を通して、生産性の向上など新たなことにチャレンジする取り組み

株式会社日阪製作所

1942年創業、従業員940名。国内初の染色機やプレート式熱交換器、ボールバルブを開発するなど、モノづくりの現場に欠かせない産業機械を製造・販売している。

現主力製品のひとつとしては、レトルト食品の製造工場等で同社の殺菌機が活躍しており、その国内シェアは70%。技術・規模ともに業界No. 1 企業といっても過言ではない。

そのほかにも、風呂・プールや水族館の水温調節、高層ビルの空調設備などで活躍するプレート式熱交換器の製造からメンテナンス、チョコレート製造工場で活躍するボールバルブの製造など、私たちの生活の安全・快適・便利を支えている『緑の下の力持ち』企業である。

また、機械単体に留まらず、モノづくりのノウハウや生産性向上策を併せて提供できるエンジニアリング力で、幅広い産業に貢献している。

卓越した技術を誇る東大阪のモノづくりの工場の人たちが若者たちにモノづくりの大切さを知ってもらいたい、自分たちの拘りを伝えたいという熱い想いの取り組みに、日阪製作所も満を持してメンバーに参加。難しい熱交換の仕組みを職人さんたちの、優しく、面白い解説で体感、納得できるはず！

2万トン自動プレスライン

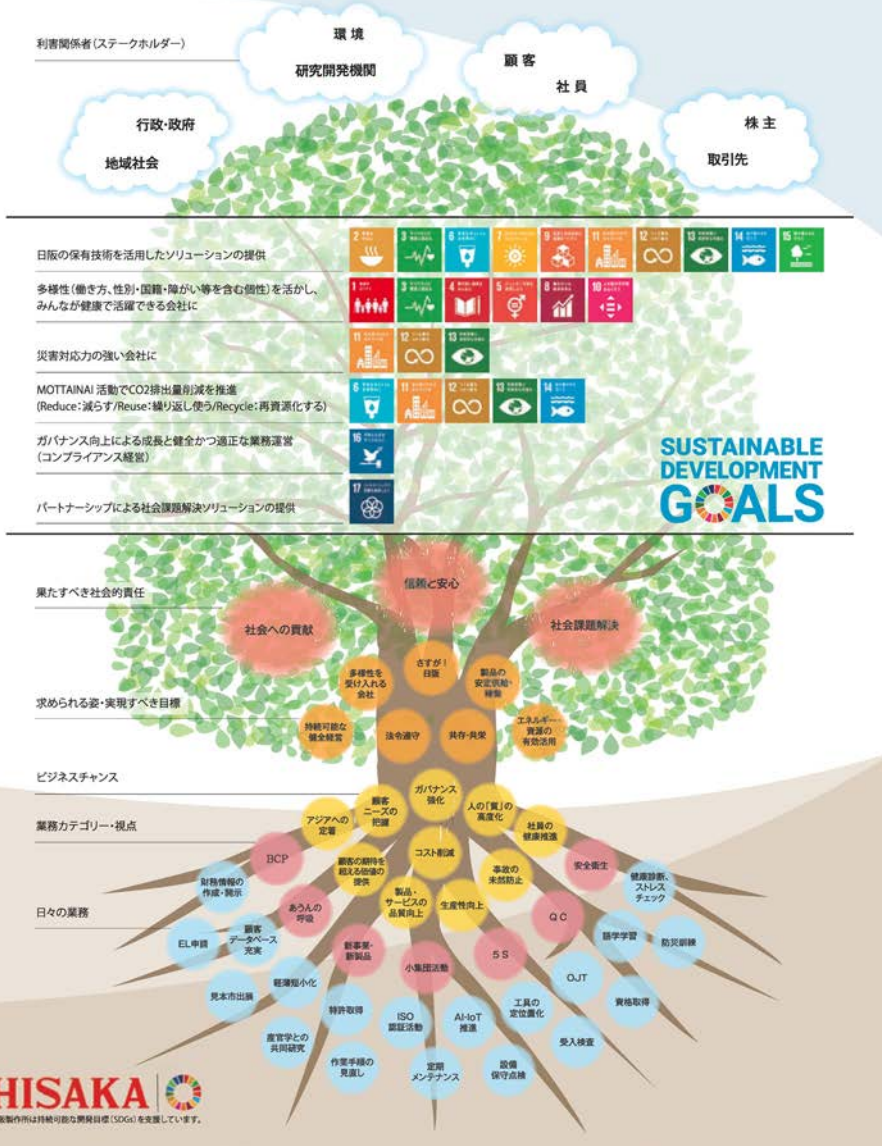


所在地◆本社：〒530-0057 大阪市北区曾根崎2-12-7 清和梅田ビル20階
鴻池事業所：〒578-0973 大阪府東大阪市東鴻池町2-1-48
HPアドレス◆ <https://www.hisaka.co.jp/>
アクセス◆JR鴻池新田駅より徒歩25分

わが社のSDGs

CSRの樹

より高く、より広く、より深く



わが社のSDGsはじめCSRに関する取り組みについては、以下のリンクで詳細をまとめている。
<https://www.hisaka.co.jp/csr> ここでは、その中の一部をご紹介します。

■日阪の保有技術を活用したソリューションの提供

廃材のリサイクル等、基本的な環境活動に加え、2018年に「未来事業推進部」を設置し、エネルギー・水・食に関する社会課題を解決するための新事業や新製品の探求と事業化の推進を目的として活動を進めている。事業を中心とした取り組みは、以下を参照ください。
<https://www.hisaka.co.jp/csr/sustainable.html>

■多様性を活かし、みんなが健康で活躍できる会社に

働きがい支援室を設置し、心身ともに健康で働きやすい環境の整備や、経営理念の浸透を図るための取り組み(パネル等の掲示や、日々利用する階段への一工夫等)を行っている。また従業員同士のコミュニケーションには、「四葉サークル」という子育て世代のコミュニティや、組合主催の「小さな部屋活動」では部署を超えた同年代の交流、その他、テニスや野球・マラソン等クラブ活動なども活発に行われている。男性社員の育休取得も年々増加し、育休からの復帰率100%ということもわが社の特徴。

■MOTTAINAI活動でCO2排出量削減を推進

省エネ推進会議というものがあり、各部署が省エネに関して考える機会を設けている。また、同様に全社でCSRサークルを展開し、各サークルが年間目標を設定し、優秀なサークルは年に1度行われるCSR大会で表彰される。特に2023年度からは、テーマがCO2削減に設定され、全社でCO2排出量削減により一層取り組む方針。更には、鴻池事業所の屋上には、太陽光発電パネルを全面に設置しており、再生可能エネルギーの普及促進に努めている。

株式会社摂津金属工業所

昭和11年プレス部品の加工から創業し、現在ではスチール製家具、店舗陳列金物の製造全般へと製造の幅を広げている企業。

中でもパイプの加工、特に「外は滑らかな曲線なのに、内側は角ばっている」という曲げ技術は業界屈指。

同業者からも感心される技術だそう。その他にも国内では数台しか導入されていないパイプの3Dレーザー加工機を使ったパイプ加工で、製品の幅を広げることに貢献しており、身近な製品に隠れている技術のを見つけ方を学んでいただける。

近年では、奈良県の十津川村で出る間伐材の活用を考慮したスチールと木を組み合わせた家具の開発等、社会課題の解決にも取り組んでいる。



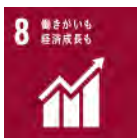
所在地◆〒578-0901 大阪府東大阪市加納4-14-12
HPアドレス◆<https://www.settsukinzoku.co.jp/>



わが社のSDGs



QUALIA FACTROY(クオリアファクトリー)としてのモノづくり



わが社の強みは、パイプを自由自在にカット・加工できること。そしてそれらを組み合わせたこれまでにない形を作ることができること。間伐材の活用を考えた「香る空間家具」[Room in Room]や、普段モノづくり業界で使用している便利なものを一般的にもご利用いただけるように改善し、そこにわが社の独自の技術を付加したもの等、近年ではデザイナーさんとコラボした商品や、オリジナル商品の開発にも取り組み、職人技を表に出すことも挑戦している。



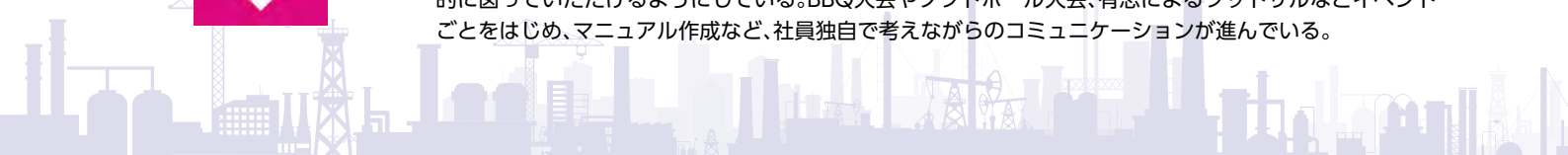
モノづくりを多くの方に知ってもらいたい

企業の責任は、いかに社会に貢献していくかということと考えている。特に直接的な関り方として、次の世代の子どもたちにモノづくりの良さを知ってもらいたく、モノづくり観光やこーぱへいこうに参画。背筋が伸びる想いで取り組まさせていただいている。

社員同士のコミュニケーションを積極的に



わが社は、三重の工場2つと東大阪本社の3拠点を構えており、ベトナム人研修生や本社では障がい者雇用にも取り組んでいる。そんな中コミュニケーションはとても重要と考え、コミュニケーション手当を設け積極的に図っていただけるようにしている。BBQ大会やソフトボール大会、有志によるフットサルなどイベントごとをはじめ、マニュアル作成など、社員独自で考えながらのコミュニケーションが進んでいる。



甲子化学工業株式会社

1969年の創業以来、プラスチックを中心に、病院やオフィス、コンビニで使われているものや生活雑貨など、様々なものを製造している企業。プラスチックは現代の私たちの社会では切っても切り離せないものになっていることと同時に、石油由来の元来のプラスチックの存在意義が問われ始めている。そんな中、ホタテの貝殻を原料としたプラスチックを使用する「HOTAMET(ホタメット)」を開発。社会課題の解決とともに、新たな技術開発にも取り組む。時代の逆境や変化にもスピーディーに対応して、プラスチックとの付き合い方を考えるきっかけをもらうことができる。



所在地◆〒537-0024 大阪府大阪市東成区東小橋1-12-20
HPアドレス◆<https://koushi-chem.co.jp/>





貝殻由来のエコプラ「カラスチック」への想い

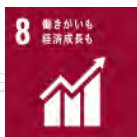


近年、石油由来のプラスチックの存在価値が問われる時代になり、現在は、植物や食物由来のものが新たに開発がされているが、わが社はエコなものであったとしても新たに資源を消費することへの違和感を感じていた。そんな時に会ったのが北海道のホタテ産地猿仏村(さるふつむら)で、加工したホタテの殻の廃棄が大変という情報だった。廃棄物から作るプラスチックこそわが社がイメージするエコプラスチックであり、数社で開発に取り組み、その最初の商品が防災用ヘルメット「ホタメット」だ。今後も新たな商品を発売予定だが、様々なものに活用されていて欲しい。



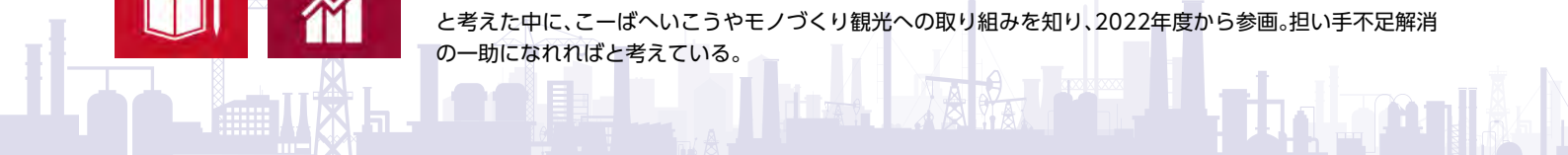
逆境の中自分たちでできることに取り組むことで得た社会からの感謝

2020年の新型コロナウイルスの流行は、わが社も事業活動をストップせざるを得ない事態となったが、そんな中「何か自分たちでできることはないか」と考えたモノづくりに取り組むことができた。そうして出来上がった「アームハンドル」と「アームスライダ」。多くの学校や医療機関で導入いただく結果となり、自分たちにできることに取り組むことで、後から事業は付いてくるということを学ばせていただいた大きな機会になった。そこから、地域や社会の課題を解決する事業を行う方針へと転換している。上記のホタメットもその中の1つ。



開かれたモノづくりで担い手育成

現在、まだ閉鎖され過ぎていると感じるモノづくり業界。モノづくりを身近に感じていただくことが必要だと考えた中に、こーばへいこうやモノづくり観光への取り組みを知り、2022年度から参画。担い手不足解消の一助になればと考えている。

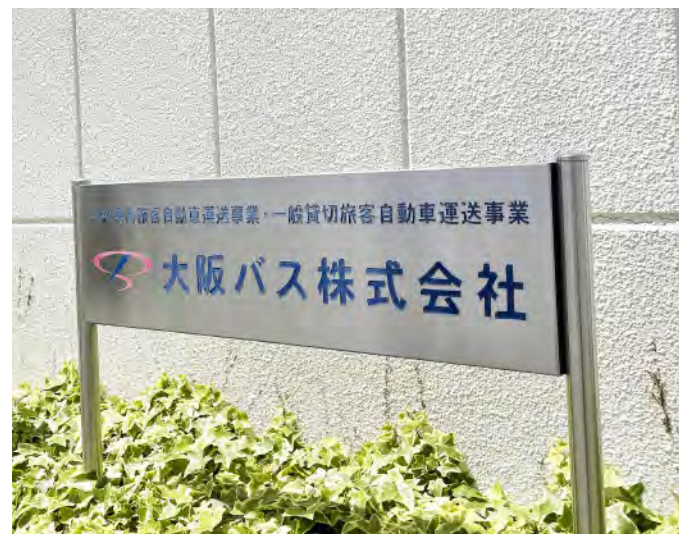


大阪バス株式会社

大阪バスグループは、1990年に貸切観光バス事業に参入した業界としては新しい企業だが、現在ではグループ8社、400台を擁する業界のリーディングカンパニーにまで成長し、関西から、北は北海道まで、バス・タクシーを中心に、輸送の様々なニーズに応えている。

輸送には、「安全性」や「コンプライアンス」こそが絶対という方針のもと、お客様の安心・安全に取り組んでいる。目指すは「世界一のサイトシーイングカンパニー」。

普段、何気なく乗車しているバスやタクシーという「働く車」を間近でご覧いただけると同時に、人々を輸送することで、地域への還元を図りたいという想いを感じていただける企業。



所在地◆〒577-0065 大阪府東大阪市高井田中3-6-21
HPアドレス◆<http://www.osakabus.jp/>



8 働きがいも
経済成長も



安全評価制度3つ星 自慢の社員研修

わが社は安全評価制度ドライバーには、他社に比べて、長い研修期間を設けている。安全運転はもちろん、お客様満足向上にも努めている。

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



スポーツやロボットコンテスト等で地域・教育支援

近年では、北海道に新しくオープンしたボールパークの交通部門を担当し、WRO Japan 2023 ROBO SPORTSというロボットコンテストの西日本大会スポンサーにもなるなど、スポーツ振興や教育の支援にも取り組んでいる。

またボールパークへ運行しているバス車両の一部には、環境にやさしい電気バスを使用している。これは、北海道内では初の取り組みだ。

12 つくる責任
つかう責任



中古車の活用も積極的に！

グループ会社には、車両をリサイクルする会社もあり、古くなった車両をリニューアルして、販売・提供することで、廃棄になる車両を少なくする取り組みも行っている。



川村義肢株式会社

義肢装具業界のリーディングカンパニー。
Quality of life の向上が企業の使命であり、lifeには生命・生活・人生の3つの意味を含める。お客様の身体的・精神的・社会的満足度が高まり、行動範囲が心身ともに拡大するようサポートする事を会社の使命とする。人と環境に優しい設備の大規模な工場だからこそ出来ること、義肢の歴史など、実際に見て、さわられる見学ツアーも行っている。



講演

要相談

- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:要相談
- 所要時間:要相談
- プログラム料金:要相談

工場・施設見学

- 受入可能時間:要相談
- 受入可能人数:最大30名まで
- 所要時間:60~90分

所在地◆〒574-0064 大東市御領1-12-1
HPアドレス◆<http://www.kawamura-gishi.co.jp/>
アクセス◆JR片町線(JR学研都市線)「住道駅」



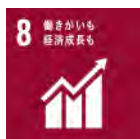


地域に開かれた工場を目指して



先代の社長の想いから「世界から学びに来てもらえるような工場」を目指して、現在大東市にある社屋ができあがった。現在はモノづくり観光はもちろん、地域の方や取引先などが見学に来ていただいている。近年では社内のショールームにて、定期的にノルディックウォーキングなどの企画を開催したり、大東市内の小学校3年生の見学も受け入れをしてきた。その見学がきっかけで、就職してくれた従業員もいるなど、地域のつながりを感じる機会も。

大規模だからこそ学べる環境と、密に連携した分業制で従業員の健康も



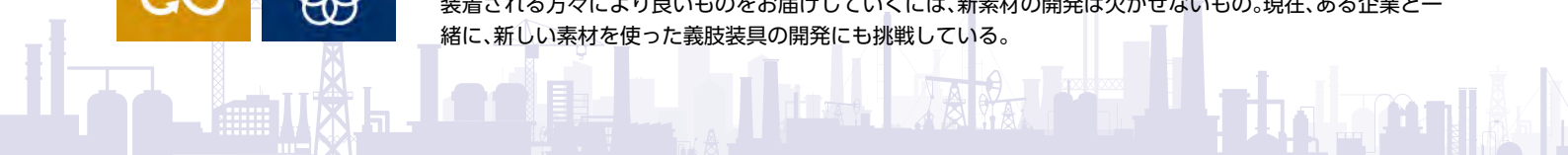
わが社の従業員数は500名以上にのぼり、この数は義肢装具業界では圧倒的な規模を誇る。そのため、お客様の病院数がとても多く、様々な臨床に触れることができる。

また、この業界は病院が開いている時間にフィッティングに伺い、戻ってから制作作業取り掛かるということから、どうしても労働時間が長くなってしまいう業界だ。しかしわが社は、この規模を活かし、密に連携した分業体制を執ることで、週休2日制の確保と残業時間短縮に取り組むことができている。その他、社内成人式の開催など、従業員が楽しみながら、働いてもらえる仕組みづくりにも取り組んでいる。



新素材の開発にも挑戦！

義肢は、長い歴史の中で、大きな形の変化がない。それは、素材に変化があまりないから。装着される方々により良いものをお届けしていくには、新素材の開発は欠かせないもの。現在、ある企業と一緒に、新しい素材を使った義肢装具の開発にも挑戦している。



三島硝子建材株式会社

皆さんがよく知る飲食チェーン店や大型ショッピングモールのドアや窓に使われる部分を設計・製作・施工している会社。お店によって入口の形が違い、一点一点がオーダーメイドのため、お客様のニーズに合わせた対応を心がけておられる。若手社員も多く、

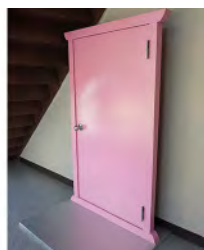
大人が楽しんで仕事をしていることが、子どもたちに、仕事について知ってもらい、考えてもらうことができるという考えのもと、社員一丸となって楽しみながらお仕事されているのが特徴の企業。また、ベトナム人の技能実習生を受け入れたことをきっかけに、ベトナムとの交流が生まれ、現在では現地法人を持つほどの企業に。この間の三島社長や夫人をはじめ、従業員の皆さんの想いや心の変化のお話も一度お聞きいただきたいお話。



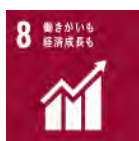
所在地◆〒577-0848 大阪府東大阪市岸田堂西2-4-22

HPアドレス◆<https://sashnomishima.com/>





大人がイキイキと仕事をする事で子どもたちにも伝えたい



モノづくりは「丁寧に生きることを教えてくれる」業界。モノにあふれている現在は、それがどのような過程でできているなど考える機会が少ないが、モノづくりに携わるとどれだけ多くの人によって、1つのモノが作られているかがわかる。それが丁寧に生きるきっかけになる。そんな誇りある仕事を伝えるために、自分たち大人が楽しみながら働くことが重要。「みしま新聞」もその1つ。従業員の家族に、働いている姿や楽しそうな姿が伝わればと思い発行している。

見学を受け入れることで業務改善も



見学の際には、全社員で協力しながら受け入れ対応をさせていただいているが、同じ内容を説明する際に、それぞれで手順が違う部分があったことに気づき、製作工程の見直しに繋がるなど、新たな気付きを与えてもらっている。

将来的には、工場の横に誰でも来ていただける食堂を開き、学校や仕事の帰り道、ふらっと立ち寄ってもらえるような開かれた身近な工場にしていきたい。

会社は「家族」であるべきということに気づかせてくれたベトナムとの交流



現在のわが社は、ベトナムに現地法人を持つことができている。ここに至ることができたのは、一番最初にわが社に来てくれたベトナム人実習生の「この会社、ぜったい潰れます」という一言おかげ。それまで安い労働力としてしか考えていなかった実習生たちにも家族があり、様々な想いを持って日本に来てくれていることに気づき、改めて日本人・ベトナム人関係なく、みんな一緒に業務に取り組むべきと考えなおすに至った。そのおかげで、様々な良い流れが生まれ現在に至っている。

有限会社旭進ガス器製作所

「顧客から選ばれるものづくりとサービスを追求する」同社が製造するガス機器は家庭用品でなく顧客の注文に合わせたオーダーメイド品が中心で、売上の六割はオーダーメイド品で残りの4割が修理や調理器具専門店で卸す規制品を製造している。徹底的に顧客満足度を高めるためにお店のレイアウトや顧客の商売に合わせて、常に顧客の使い勝手や使用する際に支障がでないように経験豊富なアイデアを提案しながら一貫してものづくりで顧客を支えている。

工場・施設見学

ガス器具の製造行程の説明→加工現場見学
所要時間:約60分

体験

器具端材でネームプレートづくり体験



所在地◆大阪市生野区中川西1丁目14-11
HPアドレス◆<http://kyokushin-gas.com/>
アクセス◆近鉄 今里駅 徒歩10分





50年先を見据えたモノづくり



必ず「修理ができる」ように作る。それがわが社のこだわり。

激動の時代の中で、残されていくべき仕事まで失くなりつつある現代だが、後世まで使用できるように作られているものこそが、大手にはできない本当のモノづくりだという考えで日々製造に取り組んでいる。その想いを評価いただき、小学生向けの学習本や、経済誌等にも取り上げてもらうことができています。

モノづくりの面白さや人生のアドバイス



わが社は、様々なご縁や出会いも大切にしている。モノづくり観光もその1つ。

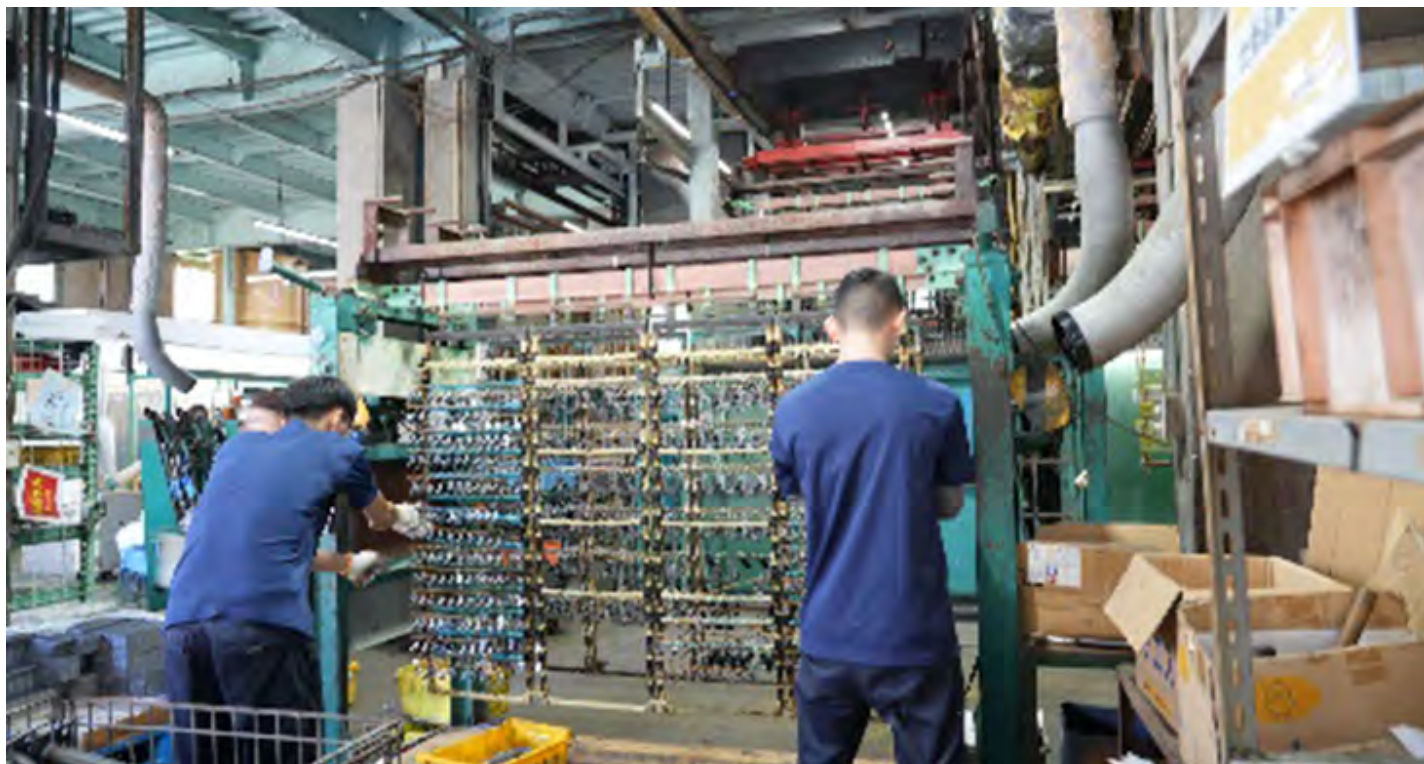
生きていくと失敗することもあるかもしれない。しかし、失敗する可能性を少しでも小さくするためのアドバイスをすることが、見学に来てくれた生徒たちに伝えたいと考えている。多くの子どもたちにモノづくりの面白さを知ってもらえれば嬉しい。

地域の中小企業や地元商店街とのかかわり



わが社のある生野区も東大阪と同様に町工場が多くある町。モノづくりは一社ではできないため、近隣の中小企業と連携しながらモノづくりに取り組んでいる。

その他にも、地域との関わりも積極的に持ち、夏休みのラジオ体操企画や地域のまつりの企画に携わり、多くの人が訪れてくれる地域づくりのお手伝いもさせていただいている。



めっきはエコな技術



めっきには3つのエコな点がある。1つ目は金属への加工という点。金属は、プラスチック等のリサイクルが難しい素材と違いリサイクル可能な金属への加工。2つ目は金属自身を長持ちさせる点。めっきの機能は、錆びにくくしたり、長持ちするということが資源の利用を少なくすることができる。そして、3つ目は軽量化できる点。軽量化するということが様々な面でのエネルギー消費量を少なくすることができる。そんな想いをもちながら、日々めっき加工に取り組んでいる。

働きがいを自分で見つけてもらうために



働くことはもちろん大変なこともあるが、その中にも楽しさや働きがいを“自分たちで”見出してもらうことが重要だと考えている。健康経営宣言もその1つ。心と身体を健康に、いつまでも楽しく働ける考え方を従業員にも持って欲しい。最近では、SNSを通じた情報発信をしているが、これも従業員が自ら考えて取り組み始めたこと。楽しく業務している様子が伝わっていると嬉しい。

作るだけでなく開発にも注力



2023年には、R&D (Research and Development) センターを開設。新たな製品開発や研究機関等との共同開発、そしてそれらが新たな事業創出に繋がればと考えている。また、ベトナムという国の可能性に着目し、ベトナム人実習生を受け入れている。将来的には彼・彼女たちが国に戻ってわが社の技術で現地法人を立ち上げて、連携していければとても嬉しい。



見学を受け入れることからの良い変化



わが社の経営理念は「我々は社会の光となります」。これを設定したことをきっかけに地域との関りも大事と考え、2011年からスタートした東成区の工場見学事業「わが町わが町工場見学隊」の受け入れ企業となった。皆さんに見ただけで、社内の整理整頓の改善提案に繋がったり、従業員の笑顔が生まれたり、自分たちの企業のことをわかりやすくお客様に説明できるようになった。更に、モノづくり観光の受け入れでは、近隣の住民の方との会話も生まれており、これからも続けていきたい活動の1つ。



廃材を利用したユニークな作品制作

展示会などの出展を通して、わが社の技術をわかりやすくお伝えするために、見学者お出迎え用の龍や、照明器具等を廃材を利用して作品の制作にも取り組んでいる。従業員たちが作りたいものを作ってもらうことで、やりがいを感じてもらいたい想いと同時に



ひがしなりソケットへの参加

2018年からは、東成の区民・企業・NPO等様々な方が参加し、東成の未来を語り合うプラットフォーム「ひがしなりソケット」にも参画し、学校や福祉施設へのモノづくりを通じたご支援をしている。また、町工場とアートというテーマで新たな取り組みにも挑戦している。

